

# 学生生活のスタートにあたって

## 知っておいてほしいこと

### 連絡・掲示

学生に対する告示，連絡，呼び出し，休講情報など重要な連絡は，すべて学生ポータルサイト及び掲示板で行います。掲示を見落とすと学生生活に支障が生じます。登下校の際には必ず学生ポータルサイトおよび各学科・1号館各課掲示板の掲示を確認するようにして下さい。

#### 1 学生ポータルサイト

学生ポータルサイトはインターネットを利用したサービスで自宅，学内のコンピュータ自習室等を利用し，アクセスすることができます。機能や使用方法について説明します。

##### (1) 学生ポータルサイトでできること



授業に関する情報や登録（Webシラバス，履修登録，成績確認，授業評価，住所登録変更）ができます。個人的な呼び出しや大学からの連絡を閲覧できると同時に携帯電話のメールアドレスを登録すれば受信ができます。

## (2) 利用方法

まず、これらのサービスを利用するためには本学のID・パスワードを取得し、ネットワークガイダンスを受講する必要があります。学内のパソコンを利用するときは世田谷キャンパスはコンピュータセンター (p.82)、厚木キャンパスは厚木学術情報センター (p.78) を参照して下さい。

## (3) 利用者IDカード

入学すると、利用者IDカードが配付されます。利用者IDは、農大のネットワークサービスを利用するときに必要な利用者を認識する符号で、8桁の学籍番号が利用者IDとなります。利用者IDは次のような場合に必要で、利用する際はパスワードも必要になります。

- ・学生ポータルサイトを利用する
- ・大学の電子メールを使用する
- ・授業でコンピュータ演習室のパソコンを使用する
- ・図書館、コンピュータ自習室、3キャンパスラボなどのパソコンを使用する
- ・ITスタンドを利用する

## (4) パスワードについて

上記のサービスを利用するときに、利用者本人であるかどうかを確認するため、パスワードの入力が求められます。パスワードは利用者IDカードに印字されています。パスワードは銀行のキャッシュカードの暗証番号と同様にとても大切なものです。絶対に他の人に見せないで下さい。また、このパスワードは上記サービスを最初に利用するための初期パスワードです。利用開始後すぐに変更し、その後も定期的に変更して成績などの個人情報が漏洩しないように注意して下さい。変更方法は利用者IDカードに記載されています。

パスワードがわからなくなった場合は新しいパスワードを配付しますので、世田谷キャンパスはコンピュータセンター、厚木キャンパスは厚木学術情報センターで手続きをして下さい。また、初期パスワードを変更する前にこのカードをなくした場合は、至急、パスワードを変更して下さい。変更しないと、誰かにIDを悪用されることも考えられます。

パスワードの再配付には1日から3日かかりますので、その間は上記のサービスを利用することができません。

## (5) 利用者IDの有効期限と情報倫理教育受講について

利用者IDは、配付当日から卒業まで使用することができます。しかし、この利用者IDを使用するにあたり、皆さんが大学の様々なサービスを正しく使うことができるように、「情報倫理教育 (ネットワークガイダンス)」を受講することが義務付けられています。この情報倫理教育を受講しない場合は5月31日で利用者IDの使用を停止します。

情報倫理教育 (ネットワークガイダンス) は、必修科目である「情報基礎 (一)」の1回目の授業で実施しますので、必ず出席して下さい。万が一欠席した場合は、世田谷キャンパスはコンピュータセンター、厚木キャンパスは厚木学術情報センターに相談して下さい。

授業開始までに、上記のサービスを利用する場合があります。注意点を「(6) ネットワーク利用上の注意」に掲載しましたので、必ず読んで下さい。

## (6) ネットワーク利用上の注意

ネットワークを利用するときは、次のことに注意して下さい。(東京農業大学ネットワーク利用ガイドライン要約)

- ① ネットワークを利用したすべての行為に全責任を負うことになるので、社会の一員としての自覚に基づいて利用すること。
- ② 他の利用者に自分のIDとパスワードを教え、電子メールや学生ポータル等を使わせないこと。また、他の利用者のパスワードの解読をしないこと。
- ③ 他の利用者のファイルやデータを勝手に削除したり、コピーしたりしないこと。
- ④ 大量のデータを送信したりすることで、他の利用者の利用を妨げないこと。
- ⑤ 大学のネットワークは教育・研究を目的としているので、営利目的、政治活動、布教活動などで使用することはできない。
- ⑥ コンピュータシステムを壊したり、故障の原因となるような行為をしないこと。

- ⑦ 第三者の著作物を利用するときは、著作権法の規定に従い、勝手にコピーをしないこと。
- ⑧ 他の利用者の電子メールを勝手に読み、削除・コピーをしたり、偽造したりしないこと。
- ⑨ いやがらせや公序良俗に反する内容、不確かな内容の情報をWebページを使って流したり、迷惑となる電子メールを送ったりしないこと。
- ⑩ コンピュータウイルスを持ち込まないこと。

### (7) アクセスの方法

本学のホームページにアクセス (<http://www.nodai.ac.jp>) し、トップページにある「在校生・教職員の皆様へ」→「学生専用」を順にクリックする。TOKYO NODAI Information Portal が現れたら自分の必要とする機能を選択し、認証画面に利用者ID・パスワードを入力して使って下さい。

### (8) 注意事項

- ① 学外からアクセスする場合の通信費は利用者負担です。
- ② システムメンテナンス等でサービスを休止することがあります。

### (9) 問い合わせ先

学生サービスセンター長宛 e-mail [g-center@nodai.ac.jp](mailto:g-center@nodai.ac.jp)

## 2 掲示版（学生ポータルに掲載している内容が掲示されています）

世田谷キャンパス 1号館入口（141教室側）掲示版 1, 2階ヘルプカウンター向いの掲示版

学生サービスセンター各課入口前の掲示版

厚木キャンパス 本部棟1階入口前掲示版 本部棟と研究棟間の通路の掲示版

学生生活支援課の掲示版（厚木キャンパスは学生サービス課の掲示版）

- 学生の賞罰や災害、事故等に関する告示、警告、注意、その他について
- クラブや同好会を含む課外活動について
- 各種奨学金や特待生等について
- 保健・衛生に関する事項について

学事課・学習支援課の掲示版（厚木キャンパスは学生サービス課の掲示版）

- 授業について（授業時間割、休講、補講、教室変更、各種連絡事項、夏季・冬季休暇中の集中授業の予定など）
- 試験について（定期試験時間割、授業中の試験、レポート課題、注意事項など）
- 呼び出し学生について
- 大学行事、ガイダンス等について

キャリアセンターの掲示版（厚木キャンパスはキャリア・エクステンション課前の掲示版）

- 各種ガイダンスについて
- 求人情報について
- 公務員採用試験の案内
- 各種採用試験対策講座、各種テスト等の案内
- 合同企業セミナー・説明会等の案内
- インターンシップの案内
- 就職支援プログラムについて
- 就職支援サイトなどの諸情報
- Uターン（出身地域）就職などの案内

各学科事務室の掲示版

- 世田谷キャンパスの各学科研究棟には学科事務室が設置されています。学科内の連絡等は、こちらで掲示されます。
- 厚木キャンパスにおける各学科内の連絡等は、講義棟と研究棟間の通路の掲示版に掲示します。

## 授業時間

1 時限	9：00～10：30
2 時限	10：40～12：10
3 時限	13：00～14：30
4 時限	14：40～16：10
5 時限	16：20～17：50
6 時限	18：00～19：30

## 各門の開門時間

世田谷キャンパス	厚木キャンパス
正 門 …………… 終日	バスロータリー …………… 6:00～22:20 (休業日は 6:00～21:40)
(経 堂 門) (桜 丘 門) …………… 6:00～23:00	正 門 …………… 7:15～20:00
用 賀 門 (12号館横) …………… 6:00～23:00 (休業日は閉門)	(行事等により時間の変更があります)
千 歳 門 (常磐松道場横) …………… 6:00～23:00 (休業日は閉門)	
新校舎建設業者専用のため通行禁止	
※ (世田谷キャンパスの再整備・工事計画に伴い、時間の変更又は閉鎖する場合があります)	

## キャンパスライフ

### ○電話等による呼び出し・照会はできません

皆さんの家族や友人などから、呼び出しを依頼する電話がかかってくるかもしれませんが、大学では学生ひとりひとりの所在については把握できません。特に緊急を要すると認められる場合以外は呼び出しには応じられません。

また、皆さんのプライバシーを守秘する立場から、在籍確認や住所、電話番号等の照会にも一切応じていません。

### ○学内情報誌「NODAI CAMPUS」

世田谷キャンパスでは学生生活支援課が「NODAI CAMPUS SETAGAYA」を年 5 回 (学生ポータル上でも見ることができます)、厚木キャンパスでは学生サービス課が「NODAI ATSUGI CAMPUS」を年 4 回、学生向け情報誌として発行しています。誌上では、クラブ活動や同好会活動を含めたその時々での学生の活動状況や大学行事の紹介、連絡事項等を掲載しています。皆さんからのニュース提供も受けていますので、掲載希望がありましたら情報をお寄せ下さい。

### ○学生個人情報保護に関する本学の取り組みについて

本学では、学生の皆さんの教育研究及び生活支援に必要な業務を遂行するために個人情報を扱っております。個人情報保護法施行 (平成15年 5 月成立・施行, 平成17年 4 月完全施行) に伴い、個人情報の保護に関する法律や政令、文部科学省が定める指針等の基準を遵守しながら、適切な取り扱いの取り組みを行っております。

## マナーとルール

一人ひとりがマナーを心がけ、学内や公共のルールを守り、快適な学生生活をおくりましょう。

## キャンパス内

### 携帯電話の使用について

授業中は電源を必ずOFFにしてください。

### キャンパス内での電源及び携帯電話等の使用について

- 各キャンパスにおいて節電対策を実施していますので、無用な電源使用は控え節電にご協力ください。
- 授業中は携帯電話等の電源は必ずOFFにしてください。
- 携帯電話等の充電は禁止です。

### ゴミの分別ルールについて

ゴミは必ずゴミ箱へ、学内では農大の分別ルールに従って捨ててください。(詳細 世田谷p.48, 厚木p.49)

### 喫煙について

- 喫煙は、本人の健康を害します。吸わないにこしたことはありません。

[喫煙によって起こる様々な障害]

- ・がん (肺がん, 舌がん, 咽頭がん, 喉頭がん, 食道がん, 胃がん等)
- ・循環器 (高血圧, 動脈硬化, 脳卒中, 狭心症, 心筋梗塞等)
- ・口の中・消化器 (口内炎, 歯周病, 口臭, 慢性胃炎等)
- ・その他 (肌荒れ, しみ, しわ, 早産, 流産, 妊娠合併症等)

- タバコの煙は周りの人に健康被害を及ぼします。周囲への配慮が必要です。

[受動喫煙による健康被害]

- ・肺がんの危険性を高めます。
- ・子どもの気管支炎や肺炎を引き起こします。
- ・妊婦の低体重出産の危険性を高めます。
- ・頭痛やせき, 目や鼻の症状を引き起こします。

- 20歳未満の喫煙は未成年者喫煙禁止法により、禁止されています。

<喫煙の学内ルール>

1. 校舎内は、禁煙です。
2. 大学が指定する喫煙所のみで喫煙してください。
3. 歩行喫煙は厳禁です。吸殻は喫煙所の灰皿に必ず捨ててください。

## 飲酒について

大学では課外活動や研究室活動の一環として学生が集団で飲酒する場合、学内・外にかかわらず「飲酒届」を事前に提出することになっています。

個別に飲酒する場合も当然のことながら未成年の飲酒は法律で固く禁じられていることを、肝に銘じてください。

また、適量を知らず無茶な飲み方をすると急性アルコール中毒になって死に至ることもありますので、充分注意してください。

<飲酒の学内ルール>

1. 飲酒の時は必ず教職員が同席する。
2. 飲酒時間は20時までとする。
3. 未成年者と成人者を区別する表示又は区分をする。
4. 未成年者に飲酒を勧めることは禁止とする。
5. 未成年者は飲酒を勧められた場合、断じて断ること。
6. 未成年者が酒を注ぐことは禁止とする。
7. 飲めない者に飲酒を勧めることは禁止とする。
8. 一気飲みを勧めること、行うことは禁止とする。
9. 後片付けをきちんと行うこと。

## 自転車通学について

(世田谷キャンパス)

- 世田谷キャンパスの駐輪場は、第一駐輪場の1ヵ所のみです (p.227参照)。指定駐輪場以外に駐輪した自転車は撤去されると共に、学則に基づき大学から処分される場合がありますので、必ず指定駐輪場に駐輪してください。

- 駐輪スペースが限られているので、大学から半径1キロメートル以内の在住者、経堂駅・千歳船橋駅からの通学者は徒歩で通学することになっています。

- 自転車はその日のうちに乗って帰り、終夜放置をしないでください。

※今後、キャンパス再整備に伴い、駐輪場が変更となる場合がありますので、掲示に注意してください。

(厚木キャンパス)

- 自転車の駐輪は登録制です。学生サービス課で登録手続きを行ってください。未登録の自転車(登録シール未貼付)は、放置自転車として廃棄処分とします。

- 体育館下、長谷門付近など数箇所<sup>に</sup>駐輪場を設置しています。駐輪場の入口付近や通路にはみ出さないように整然と駐輪し、キャンパス内は徒歩で移動してください。

- 自転車はその日のうちに乗って帰り、深夜放置をしないで下さい。

事 項	厚木キャンパス
登録申請書提出先(随時)	学生サービス課
提出書類	自転車登録申請書
登録料	100円(証紙を購入する) 登録の有効期限は在学期間とする
配付書類	駐輪許可シール(後輪泥よけ部分に貼る)
駐輪ルール	指定の場所に駐輪する

### 自転車のルールについて

- 自転車は道路交通法により車両の一種と定められていることをご存知ですか。
- 人身事故も増加傾向にあります。普通の自転車でも時速40km程度までは速度が出るため死亡事故につながることもあり、被害者の遺族に1千万円の損害賠償を命じられた例もあります。
- 極端なスピードでの走行、二人乗り、無灯火などのほか、一時停止・信号無視、飲酒運転なども絶対にやめて下さい。

### オートバイ通学について

オートバイ通学希望者は次の手続きを取って下さい。大学周辺の路上及び路地等にオートバイ等を駐車させることは、通行の妨げとなり事故の原因になりますので絶対にやめて下さい。

世田谷キャンパスでは、馬事公苑前のけやき広場にオートバイ等の不法駐車が多く、警察や世田谷区から厳重に注意を受けています。路上駐車は警察から照会があり、すぐに持ち主が判明し処分されます。

(登録について) 入学式以降に説明会がありますので希望者は必ず出席して指示に従って下さい。

「オートバイ等の駐車場使用要領」(p.225参照) 遵守

事 項	世田谷キャンパス
登録申請書提出先(4月・10月2回)	常磐松学生会館事務室 (p.226) (管轄は学生生活支援課 p.227)
提出書類	オートバイ・通学経路届・免許証・自動車損害賠償責任保険証・学生証の各コピー等登録申請書をそろえて提出

事 項	世田谷キャンパス
登録料	500円(証紙を購入する) 登録の有効期限は在学期間とする
配布書類	駐車許可シール(後輪泥よけ部分<見える場所>に貼る)
駐車ルール	所定の駐車場へ駐車(使用時間午前6時から午後10時まで、構内及び駐車場内ではエンジンを切り移動すること)

事 項	厚木キャンパス
登録申請書提出先	学生サービス課
提出書類	同上(世田谷キャンパス)
登録料	同上(世田谷キャンパス)
配付書類	駐車許可シール(後輪泥よけ部分<見える場所>に貼る)
駐車ルール	指定の場所に駐車する その日のうちに乗って帰り、深夜放置しないでください。

### 自動車通学について

本学では世田谷キャンパス、厚木キャンパスともに、学生の自動車通学を禁止しています。路上駐車の持ち主が判明した場合は、学則に基づき厳しい処分を受けることになります。

#### ◎自転車・オートバイ・自動車等の違法駐輪、違法駐車に対する大学の対応について

違法駐車・違法駐輪は近隣住民の方々には大変な迷惑をかけるばかりか、重大な事故を誘発することにもなります。万が一、違反が発覚した場合には、大学の規則と交通法規に準じ、厳重なる処分を行います。

### キャンパス外

#### 地域社会でのマナー

駅前や飲食店の内外で大勢たむろして騒いだり、道路いっぱい広がって歩いたり、グループで行動すると周りの人々の迷惑を考えなくなりがちです。いかなるときも周囲の人々のことを考え、自分の行動には責任をもってください。

皆さん一人ひとりがマナーを心がけ、ルールを守り、

一人前の大人として行動することが期待されています。農大生としての自覚と誇りをもって行動して下さい。

## 公共マナーについて

- 乗り物の中では  
携帯電話の使用，大声での会話，飲食，割り込み，席をつめないで座る，足を組んで座る，過度の寝込みはマナーに反します。
- 公共物の適切な利用を心得ましょう  
破壊・破損，レンタル物の延滞，ゴミの放置・分別，落書きは不可です。
- 品性を守る行動を心がけよう  
飲食店での過度な喫煙，歩きタバコ・飲食，横並びで歩く，年配者に席を譲らない，お礼を言わない，などは不可です。

## 絶対にやめよう

### 薬物乱用について

- 覚醒剤や麻薬は，「集中力が高まる」「痩せられる」などの甘い言葉に誘惑されて使用してしまう若者が跡を絶ちません。使用した場合はもちろん，所持だけで7年以下の懲役刑が科せられる重罪です。
- 大麻は，「タバコより害が無い」「外国ではみとめられている」などの噂を鵜呑みにして，気安く手を出す人が多いですが，所持・譲渡・譲受した場合は5年以下の懲役となります。入手のための強盗や殺人などの二次犯罪に発展し，本人はもちろん，家族をも想像を絶する不幸に陥れることになります。
- また，「脱法ドラッグ」（合法ドラッグ）と呼ばれるものも出回っていますが，これらの薬物は，多種類の薬品を化学合成等して作られたものであり，使用することは，体への影響を考えると大変危険です。
- 薬物は乱用すると，脳に悪影響を及ぼすとともに，依存を引き起こします。興味本位で1回だけなら大丈夫と思っていても，自分の意思だけでは止められなくなります。絶対に使用してはいけません。

## トラブルに役立つWebガイド

犯罪や被害の実態・防止策を知り，トラブルを未然に防ぐ

国民生活センター	www.kokusen.go.jp TEL.03-3446-0999 ●携帯サイト www.kokusen.go.jp/mobile/
経済産業省	www.meti.go.jp ●消費者相談室 TEL.03-3501-4657 ◇メールによる相談 qqjcbbf@meti.go.jp ●関東経済産業局（さいたま市） TEL.048-601-1239（相談専用）
警察庁	www.npa.go.jp ●警察庁ハイテク犯罪対策総合センター TEL.03-3431-8109（電話相談）
警視庁	www.keishicho.metro.tokyo.jp
日本弁護士連合会	www.nichibenren.or.jp ●法律相談窓口／あっせん・仲裁センター
(財)日本消費者協会	www.jca-home.com ●消費者相談 TEL.03-5282-5319 ※消費者に役立つ「情報コーナー」に悪徳商法など豊富な情報
日本エステティック協会	www.esthesite.com ※中途解約に関する説明など
(財)日本通信販売協会	www.jadma.org ●通販関連のトラブル等は「通販110番」 TEL.03-5651-1122
クーリングオフ・ネット	www.cooling-off.net
お部屋探し達人「敷金トラブルサイトリスト」	www.heyasagase.com/sitelist/joho/sikikin.html ※敷金や原状回復トラブル等に関連した各種サイトを紹介しているので便利
ネット関係のトラブルについて	
総務省電気通信消費者相談センター	www.soumu.go.jp/joho_tsusin/s-jyoho.html
迷惑メール相談センター(財)日本データ通信協会	www.dekyou.or.jp/soudan ●お問い合わせ TEL.03-5974-0068
インターネットホットライン連絡協議会	www.iajapan.org/hotline
Web110(民間団体)	www.web110.com
海外渡航・留学に役立つ情報	
外務省「海外安全ホームページ」	www.anzen.mofa.go.jp ※海外でのトラブル防止のために
「地球の歩き方」ホームページ	www.arukikata.co.jp
奨学金・留学生支援・学生生活支援等についての情報	
独立行政法人日本学生支援機構	www.jasso.go.jp

## 注意してほしいこと

受験勉強に明け暮れた高校時代を通り抜けて、新しい大学生活に胸をふくらませて大学の門をくぐったみなさんの前に、危険な落とし穴がいっぱい待ち構えています。社会経験の浅い学生を食いものにしようと悪徳商法がつけ入る隙を狙っているのです。

### 悪徳商法

若者を狙う悪徳商法の手口はますます巧妙になり、被害にあっても本人が気付かないこともしばしばです。悪徳商法は優しい口調で、高度なテクニックを駆使し、決して人をだますような素振りを見せません。しかし、契約が成立すると、コロッと態度を変え、解約に応じてくれないばかりか、話しさえ聞いてくれません。

また、この手の業者はローン会社と提携している場合が多く、ついつい高額な商品に手を出してしまいがちで支払い不能におちいる場合も少なくありません。悪徳業者の代表的手口を下記に載せておきます。しかし、これ以外にも様々な手口を使ってきます。楽しく、有意義であるはずの大学生活が、灰色の大学生活にならないよう十分注意して下さい。

### 悪徳業者の代表的手口

#### ● マルチ商法

「僅かな入会金（といっても数十万円と高額）で割のいいバイトができるよ」などの巧みな言葉に誘われて入会、「ブランド品や車・健康食品を格安で君に卸すので、それを友人に市価より安く売れば君も儲かるし友人も得をする。年収1千万円も夢じゃない」のはずが実際にはほとんど売れず、入会金を取られ損ばかりか友人との信頼関係まで破滅する結果になる。

AD：マルチ商法（ネズミ講）は法律で禁止されていますが、法の網の目をくぐって、これに類する商行為が横行しています。若者をターゲットにしているものが多く、手口も年々巧妙かつ悪質になってきているので、「うまい話には必ず落とし穴がある」ということを忘れず、くれぐれも注意して下さい。本学学生も毎年相当数、被害にあっています。（※ADはアドバイスの略）

#### ● キャッチセールス

- ・アンケート調査をよそおって近寄り、ブランド商品や一流ホテルでの食事が格安になるというフレコミの会員権を勧められる。アンケートで事前に小遣いや現在もっている金額を答えてしまっているため「金を持っていない」とは言えず、金を払ってしまうが会員権はほとんど役に立たない。
- ・「お肌の無料診断をします」と言って近づき、結局高額な化粧品を勧められる。
- ・「ねえ、君、スタイルがいいねえ」と声をかけ、モデルクラブの入会金を払わされるが、仕事は全くまわってこない。エステティックに誘われることもある。

AD：街かどで声をかけられてもピンときたら立ち止まらない、振り向かない。

### ●アポイントメント商法

「おめでとうございます。20才の人〇〇人の中からあなたが選ばれ、××会員になれる権利を獲得しました。会員カードをお渡ししますので営業所（または喫茶店等）までお越し下さい」といった具合に男性には女性の、女性には男性のセールスマンから親しげな電話があり、指定された場所に行くと、契約するまでしつこく勧誘される。英会話教材等がセットになっている場合が多く、40～80万円と高額なためクレジットの使用をすすめられるが、ブランド商品購入や一流ホテルへの宿泊が格安でできるはずの会員権はほとんど役に立たず、残るのはクレジットの支払いばかり。

AD：「選ばれました」などと云うのは、おびき寄せるための手です。勇気を持ってはっきり「いません」と言いましょ。しつこく電話がかかってきた場合は途中で切ってしまうくらいの勇気が必要です。

### ●携帯電話のトラブル

利用した覚えのない請求や、興味半分で利用してしまったものの不当な高額利用料金の請求など、出会い系サイトによる被害が増えています。

また、一方的に送られてくる広告などの迷惑メール、まだ存在が確認されていませんが噂のクローン携帯電話によるパケット通信の被害など、さまざまな携帯電話の被害もあるようです。

最近では、簡易裁判所の支払督促制度を悪用して、架空請求を本物（法的に執行される正式）の請求として支払いを要求してくるケースが増えています。また、ショートメールサービスを利用し、友人からのメールと思わせて回線を接続させ、支払いを要求してくるケースも目立ってきました。いずれにしても払う必要はありませんが、請求を無視する方法が通用しない場合が出てきました。すぐに消費生活センターに相談する必要があります。

### ●その他の悪徳商法

- ・消防署員をよそおい、法律で義務付けられていると偽り消火器を売りつける。（かたり商法）
- ・デートに誘い気心が知れた頃、服・着物・宝石・絵画等を売りつける。（デート商法）
- ・「デパートに卸した残りなので安くするよ」と車に誘い込み、粗悪な背広等を売りつける。
- ・架空のスキーツアー、海外旅行ツアーに誘われ、申込金をだまし取られる。

## 悪徳商法に引っかからないための6か条

- 1 簡単にドアを開けずに名前と目的を聞こう
- 2 うますぎる話に落とし穴
- 3 あいまいな返事はせず、勇気を持って、はっきり「いません！」
- 4 一人で決めずに、家族、知人にまず相談
- 5 簡単に書くな名前・電話番号・大学名、押すな印鑑
- 6 すぐにお金を払わずに、有効に使おうクーリング・オフ（下記参照）

## クーリングオフ

訪問販売、キャッチセールス、アポイントメント商法などで契約させられた場合、契約日を含め8日間は無条件で解約できる制度です。マルチ商法やモニター商法は20日間です。ただし、3,000円未満は対象になりません。

クーリング・オフは消費者から通知をするだけで解約できます。相手業者の意向は関係ありませんが、色々と条件があります。消費生活センター（p.29を参照）などに相談したほうがよいでしょう。

販売業者やクレジット会社への解約通知は、簡易書留ハガキか内容証明郵便で行い、電話や口頭では成立しません。簡易書留ハガキや内容証明郵便はコピーをとり保管しておくことをお勧めします。

### クーリング・オフ通知記載例 簡易書留ハガキの場合

※契約日  
※業者名  
※業者所在地  
※契約商品名  
※金額  
上記日付の契約は解除します。

〇年〇月〇日  
住所  
電話  
氏名

## 消費生活センター

# 困ったらすぐに消費生活相談へ!! (無料 秘密は守ります。)

## ○世田谷区消費生活センター ☎03-3410-6522

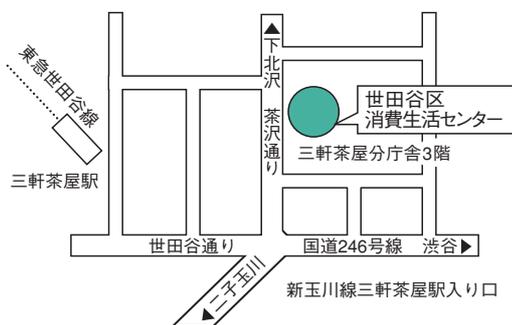
※相談時間 月曜～金曜 9時～16時30分 (来所・電話相談)  
土曜日 9時～15時30分 (電話相談のみ)

※各相談コーナーの受付時間  
9時～15時30分 (除12時～13時)

消費者生活センターでは次の仕事も行っていきます。

- 商品テスト ●消費者カレッジ
- 情報提供「消費生活センターだより」

<http://www.kokusen.go.jp/map/13/center0233.html>



〒154-0004 世田谷区太子堂2-16-7  
区役所三軒茶屋分庁舎3階

## ○厚木市消費生活センター ☎046-294-5800

※相談時間 9時30分～16時 (月曜～金曜)

〒243-0017  
厚木市栄町1-16-15 (厚木商工会議所4階)

消費生活センターでは、消費生活に関する身近な問題をテーマにした講座や情報を提供しています。是非、ご利用ください。



<http://www.kokusen.go.jp/map/14/center1020.html>

## 振り込め詐欺

オレオレ詐欺のことです。

様々な手口が出てきたため「オレオレ詐欺」という名称では括れなくなってきました。

最近、特に女子学生を対象にした電話による詐欺が増えてきています。それは、「娘さんを誘拐した。金を指定口座に振り込め」という内容の電話が保護者宛にかかってくるものです。電話の後ろでそれらしい女性の声を聞かせる演出もあるため、信じてしまう場合もあるようです。被害を防ぐためにも、保護者とはいつでも連絡できるようにしておくことが大切です。また、電話があったとしても冷静に対応するように保護者の方と話し合っておいて下さい。まだまだ新しい手口が出てきそうです。

## 学生ローン・クレジットカード・カードキャッシング・架空請求

○学生ローンは学生証だけでお金が借りられるという手軽さの反面、金利が非常に高い。利子が利子を生み「借金地獄」に陥り、生活そのものが破壊されることとなりますのでよく考えて行動して下さい。

○クレジットカードがあれば手持ちの現金がなくても高額商品がすぐ手に入ります。とはいえあくまでも借金、必ず後から支払いがやってきます。使いすぎて「カード破産」に追い込まれるケースもあるので要注意。

また、カードは絶対に人には貸さない、預けない、自分でしっかり保管して下さい。万が一紛失した場合は、直ちにクレジットカード会社に連絡するようにして下さい。

○クレジットカードのキャッシングは絶対利用しないこと。実質金利25%~35%と大手サラ金なみに高いので、クレジットの返済のためのキャッシングは絶対にしないことです。

○架空請求には、葉書や封書によるものと携帯電話やパソコンによるものがあります。

【対策】としては、①身に覚えがなければ、毅然として無視する。②電話番号を知られると脅されたりするので、絶対に相手に電話をしない。③請求の葉書やメールは証拠として保管。④裁判所が差出人となっている封書が届いた場合は、すぐに消費生活センター（p.29）等に相談する。

【最新の手口をチェック】 「ストップ！架空請求」 <http://www.anzen.metro.tokyo.jp/net/>

【架空請求専用相談電話】 東京都消費生活総合センター 03 (3235) 2400

★最寄りの消費生活センターや警察署でも相談できます。

## カルト的集団の勧誘活動

マスコミ等で報道されていて皆さんもご存知だと思いますが、首都圏の多くの大学で、スポーツや文科系のサークル活動をよそおったカルト集団が、キャンパス内で、アンケートをとったりコンサートやサークル活動に誘ったりしています。

このような勧誘活動で、さまざまな個人情報を提供させられ、多額の金品を請求されたり、社会と隔離されたり、などの被害にあわぬよう充分注意して下さい。

これらに関連して困ったことや、おかしいと思うことがありましたら学生生活支援課まで相談に来て下さい。

## アルバイトについて

大学に入学後、多くの学生がアルバイトを経験することと思います。アルバイトの目的もアルバイトをする時期も人それぞれだと思いますが、学業や生活を犠牲にしてまで行うようなことは避けて下さい。

本学では次のような職種や業種は学生にふさわしくないものと考えます。

- |                |  |
|----------------|--|
| 1 危険を伴うもの      | 自動車やバイク等の運転や高所での作業を伴うもの  |
| 2 人体に有害なもの     | 劇薬などの有害薬物の取り扱いを伴うもの  |
| 3 法令に違反するもの    | マルチやネズミ講商法など   |
| 4 教育的に好ましくないもの | 風俗営業、ギャンブル、勧誘、選挙運動など   |
| 5 人命がかかわるもの    | ベビーシッター、プール監視員など   |
| 6 その他          | ①明らかに学業や生活に支障をきたす内容のもの<br>②労働条件など不明確なもの<br>③出来高制で最低賃金が保障されないもの |

アルバイトもよく考えた上で行き、有意義で楽しい学生生活を送って下さい。

本学のアルバイト紹介についてはp.40を参照して下さい。

# 各種相談窓口と取扱内容

## 窓口案内

### 窓口業務時間

#### 世田谷キャンパス

部 課 名	所 在	平 日	土 曜 日
学 生 生 活 支 援 課	学生サービスセンター 10号館1階	8:30~18:30(~17:00) <sup>*1</sup>	休 業
学 事 課		8:30~17:00	
学 習 支 援 課		8:30~19:30(~17:00) <sup>*1</sup>	
入 試 セ ン タ ー		8:30~17:00	
国 際 協 力 セ ン タ ー			
教 職 等 支 援 課			
キ ャ リ ア セ ン タ ー	13号館1階	8:30~18:30(~17:00) <sup>*1</sup>	
コ ン ピ ュ ー タ セ ン タ ー	16号館3階	8:30~17:00	
健康増進センター	16号館1階	保健室 8:30~18:30(~17:00) <sup>*1</sup>	
		学生相談室 10:30~18:30 <sup>*3</sup>	
各 学 科 事 務 室	各学科研究室棟	8:30~17:00 <sup>*2</sup>	
短 期 大 学 部 事 務 室	10号館2階	8:30~17:00 <sup>*2</sup>	
環 境 管 理 課	法人・大学本部棟2階	8:30~17:00 <sup>*2</sup>	
経 理 課			

#### 厚木キャンパス

部 課 名	所 在	平 日	土 曜 日
学 生 サ ー ビ ス 課	研 究 棟 1 階	8:30~17:00	休 業
入 試 課			
キ ャ リ ア ・ エ ク ス テ ン シ ョ ン 課			
総 務 課			
保 健 室	本 部 棟 1 階	9:00~17:00 <sup>*2</sup>	

※1 ( )の時間は授業日及び定期・追試験日以外の業務時間です。

※2 窓口休務時間(11:30~12:30)があります。

※3 授業日及び定期・追試験以外の受付日時は別途掲示等でお知らせします。

○窓口業務時間は、大学行事及び学生の長期休業中は変更することがあります。

○各種証明書発行の受付時間は多少異なりますので、ご注意ください(→p.33)。

○図書館の窓口業務(開館)時間はp.71を参照して下さい。(農学部図書館についてはp.78参照)

## カリキュラムについて

㊦ 世田谷キャンパス・㊧ 厚木キャンパス

事 項	取扱い窓口	摘 要	参照頁
卒業に必要な単位	㊦ 学習支援課 ㊧ 学生サービス課	学則で定められています。この本の履修編を熟読して下さい。わからない点をご相談下さい。	117 ・ (180)
履 修		学科ガイダンスに出席のうえ、必ず期限内に履修の手続きをして下さい。	111 ・ (175)
試 験		時間割は各自掲示で必ず確認して下さい。遅刻しないように十分注意して下さい。	113 ・ (177)
授 業 欠 席 届 試 験 欠 席 届		取扱い窓口で尋ねて下さい。	110・113 ・ (174・177)
教員免許について	㊦ 教職等支援課 ㊧ 学生サービス課	各時期のガイダンス・説明会等に必ず出席して下さい。計画的履修と自主的努力が必要です。	161～
学芸員・司書について			167～ ・ (190～)

( )は短期大学部の参照ページを表す。

## 進路の相談

㊦ 世田谷キャンパス・㊧ 厚木キャンパス

事 項	取扱い窓口	摘 要	参照頁
休 学 願	㊦ 学 事 課 ㊧ 学生サービス課	3カ月以上修学できない場合	39
復 学 願		休学事由が解消したとき	
退 学 願		大学をやめるとき	
再 入 学		退学したのち再入学するとき	
転 学 部 ・ 転 学 科		学部・学科を変更したいとき	
卒業後も勉強をつづける	㊦ 入試センター ㊧ 入 試 課	本学大学院進学 本学短期大学部生が本学の4年制学部編入する場合	
国際教育プログラム 外国人留学生支援	㊦ 国際協力センター ㊧ 学生サービス課	海外農業実習・短期語学留学 海外研修・世界学生サミットなど	83～
進路相談・就職について	㊦ キャリアセンター ㊧ キャリア・エクステンション課	掲示に注意	62

## 各種届出・願出および証明書の交付

㊦ 世田谷キャンパス・㊧ 厚木キャンパス

事 項	取扱い窓口	摘 要	参照頁
学 生 証 発 行	㊦ 学生生活支援課 ㊧ 学生サービス課	常に携帯して下さい。	37
仮 学 生 証 発 行		試験時のみ発行，発行料500円	
外 国 語 学 生 証		海外で必要な場合，大学生協（プレイガイド）で国際学生証発行の申請をして下さい。（有料1,430円）	
学 生 証 再 交 付 願 （学生証を紛失・破損した場合）		再交付料3,000円	
住 所 変 更 届		㊦ 学 事 課 ㊧ 学生サービス課	変更が生じた場合は直ちに学生ポータルから修正して下さい。
保 証 人 住 所 変 更 届			
成 績 証 明 書	㊦ 学 事 課 ㊧ 学生サービス課	自動発行機で発行します。 （稼働時間：授業のある日） ㊦ 平日 8：30～19：30 ㊧ 平日 8：30～17：00 発行料200円（英文は300円，窓口で発行）	38
卒 業 見 込 証 明 書 （卒業年次生のみ発行）			
在 学 証 明 書			
栄 養 士 資 格 取 得 見 込 証 明 書			
教 員 免 許 状 授 与 見 込 証 明 書			
大 学 院 受 験 用 調 査 書			
各 種 英 文 証 明 書			
保 証 人 変 更 届			
改 姓（名） 届			
本 籍 地 変 更 届			
健 康 診 断 証 明 書	㊦ 健康増進センター ㊧ 保 健 室	自動発行機で発行します。 （稼働時間：授業のある日） ㊦ 平日 8：30～19：30 ㊧ 平日 8：30～17：00 発行料200円	50

※証明書自動発行機は㊦ 10号館 1 F（p.228），㊧ 研究棟 1 F（p.233）にあります。

※夏季休業中は，窓口業務時間が変更になることがあります。

## 通学方法

㊦ 世田谷キャンパス・㊧ 厚木キャンパス

事 項	取扱い窓口	摘 要	参照頁
通学定期購入のための証明 (通学証明書発行)	㊦ 学生生活支援課 ㊧ 学生サービス課	ほとんどの交通機関は学生証（裏に定期乗車券発行控を貼付）で購入できます。 駅等の窓口で、特に必要と言われた場合は申し出て下さい。	38
オートバイ通学登録許可証		㊦ 年 2 回（4 月・10 月）受付 ㊧ 随時受付 ㊦・㊧ともに説明会実施	25

## 旅行や帰省のときは

㊦ 世田谷キャンパス・㊧ 厚木キャンパス

事 項	取扱い窓口	摘 要	参照頁
学 割 証 (学校学生生徒旅客運賃割引証)	㊦ 学生生活支援課 ㊧ 学生サービス課	自動発行機で発行します。 (稼働時間：授業のある日) ㊦ 平日 8：30～19：30 ㊧ 平日 8：30～17：00	38
団 体 旅 行 割 引 証		課外活動や研究室等での団体旅行	

## 学費について

㊦ 世田谷キャンパス・㊧ 厚木キャンパス

事 項	取扱い窓口	摘 要	参照頁
授業料通知送付先変更届	㊦ 学生生活支援課 ㊧ 学生サービス課	送付先に変更が生じた場合は、直ちに学生ポータルから各自で変更して下さい。	38
学 費 延 納 願	㊦ 経 理 課 ㊧ 学生サービス課	本人・保証人連名で提出 所定用紙が取扱い窓口にあります。	39～40

## 経済上の問題・事故・事件・その他のトラブル

㊦ 世田谷キャンパス・㊧ 厚木キャンパス

事 項	取扱い窓口	摘 要	参照頁
奨学金を受けたいときは	㊦ 学生生活支援課 ㊧ 学生サービス課	本学、日本学生支援機構及び民間団体の奨学金、教育ローンなど	41～43
交通事故・悪徳商法・盗難 その他のトラブル		どんなことでも相談に乗ります。 プライバシーは守ります。	27～30

## アパートの斡旋

アパートの斡旋は、大学の事務局では行っておりませんが、次の所で斡旋しています。

キャンパス名	取扱い店	場 所
世田谷キャンパス	東京農業大学生生活協同組合 (大学生協 住まい紹介)	常磐松会館本館1階 ☎ 03-3427-5769 (直)
厚木キャンパス	厚農商事(株) (JA厚木市農協の不動産部門)	小田急線本厚木駅南口前 ☎ 046-228-0182 ☎ 0120-36-0182

## 健康について

㊦ 世田谷キャンパス・㊧ 厚木キャンパス

事 項	取扱い窓口	摘 要	参照頁
定期健康診断	㊦ 健康増進センター ㊧ 保健室	毎年4月に行います。 必ず受けて下さい。	50
怪我，病気になったとき		応急処置と医療機関の紹介を行います。	
健康診断証明書		自動発行機で発行します。 (稼働時間：授業のある日) ㊦ 平日 8:30~19:30 ㊧ 平日 8:30~17:00	
学生生活でのさまざまな問題 や悩みについて	㊦ 学生相談室 ㊧ 学生相談室	皆さんの立場に立って一緒に考え ます。個人のプライバシーは厳守 します。	

## 課外活動に関する届・願出

㊦ 世田谷キャンパス・㊧ 厚木キャンパス

事 項	取扱い窓口	摘 要	参照頁
合 宿 届	㊦ 学生生活支援課 ㊧ 学生サービス課	農友会各部・同好会は事前に提出が 義務づけられています。 ㊦ 常磐松会館本館または常磐松学 学生会館で申請。	205
集 会 許 可 願		所定用紙が取扱い窓口にあります。	
催し物開催許可願			
アンケート・署名・勧誘・ 募金活動許可願			
物 品 販 売 許 可 願			
ポスター・立看板・垂れ幕 提出許可願		毎年5月頃に説明会を開催します。	
団体(同好会)結成承認願			

## 施設の利用

### 世田谷キャンパス

事 項	取扱い窓口	摘 要	参照頁
教 室	学生生活支援課	所定用紙があります。	218
百周年記念講堂			
桜丘アリーナ	桜丘アリーナ内	桜丘アリーナで相談して下さい。	57
桜丘アリーナトレーニングルーム	トレーニングルーム内	講習会受講が必要で利用料がかかります。	
常磐松会館本館各学科室	各学科事務室		56
常磐松会館道場ミーティングルーム	農友会体連本部	所定用紙があります。	
常磐松学生会館ミーティングルーム等	常磐松学生会館事務室	事務室予定表に書き込む。	57

### 厚木キャンパス

事 項	取扱い窓口	摘 要	参照頁
教 室	学生サービス課	所定用紙があります。	218
体 育 館			57
学 生 会 館			

### その他

事 項	取扱い窓口	摘 要	参照頁
奥多摩演習林研修センター	研修センター	直接申し込んで下さい。 ☎ 0428-83-3352	101
富 士 農 場	富士農場事務室	直接申し込んで下さい。 ☎ 0544-52-0005	58 ・ 94

## 各種証明書・届出書類

### 学生証

学生証は「東京農業大学学生」としての身分を証明する唯一のものです。

学生証は試験を受けるとき、学割、定期、その他各種証明書の申込みや受け取りのときに必要であり、常時携帯しなければなりません。紛失・破損しないよう十分注意して下さい。万一、紛失・破損した時は、学生生活支援課（厚木キャンパスは学生サービス課）で「学生証再交付願」（有料3,000円）を提出し、速やかに再発行して下さい。

改姓（名）した場合も改姓（名）届を学事課に提出した上で学生証の再発行を受けて下さい。この場合は無料です。

また、定期試験の時に学生証を忘れた場合は、当日のみ有効の「仮学生証」（有料500円）を学生生活支援課（厚木キャンパスは学生サービス課）で発行します。

なお、海外渡航に際し「外国語学生証」が必要な場合は、大学生協で「国際学生証（有料1,430円）」の発行申請をして下さい。

（見 本）



学籍番号は8桁の数字により表示され、この番号は在学中変わりません。履修登録、試験、証明書等の申込みには必ず使用しますから、正確に記憶して下さい。

〔学籍番号の構成〕

4	0	2	1	3	3	2	1
学科			入学年		番号		

〔402は農学科，13は2013年入学，321は学科内番号〕

学生証の氏名表記について、氏名に旧字体、異体字、俗字等が含まれている場合、機械処理上、その文字表記をJIS規格第一水準及び第二水準の範囲内の文字に置き換えて表記します（ただし、新字体であるJIS規格第一水準を優先して置き換えます）。

学生証をはじめ各種証明書、学内掲示、配布物等、すべての氏名表記も同様に置き換えます。

※置き換え文字の一例

「高」	→	高	→	「吉」	→	吉
「崎」	→	崎	→	「瀬」	→	瀬
「齋」	→	齋	→	「柳」	→	柳
「濱」	→	浜	→		→	など

## 住所変更届

本人の住所や保証人の住所・電話番号に変更が生じた場合は、直ちに学生ポータルから各自で変更して下さい。  
通学定期乗車券発行控（学生証裏面の貼付シール・下記「通学定期券の購入」参照）の住所欄の変更は、**学生生活支援課**（厚木キャンパスは学生サービス課）で毎年度新しいシールを発行しますので、自分で貼り替えて下さい。

新学年の4月に学生ポータルから履修登録を行いますが、同時に、住所を確認して下さい。変更がある場合は必ず住所確認画面から変更して下さい。

万一の事故や、大学からの緊急の連絡が確実に届くように、住所や電話番号、携帯電話番号等は変更のつど必ず届け出て下さい。

## 授業料等通知送付先の変更

授業料等通知送付先に変更が生じた場合は、直ちに学生ポータルから各自で変更して下さい。

## 保証人変更届

保証人を変更した場合は、**学事課**（厚木キャンパスは学生サービス課）所定の用紙に記入して届け出なければなりません。なお、保証人の変更には、新しい保証人の署名捺印が必要です。

## 通学定期券の購入

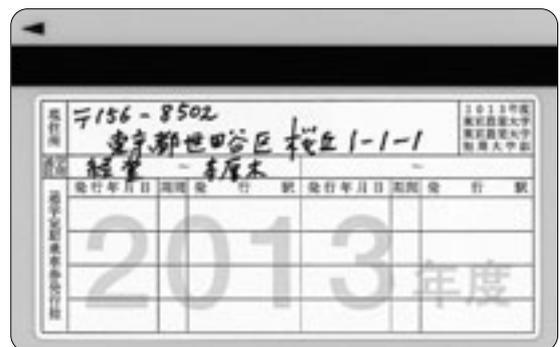
通学定期券を購入する場合は、各駅の定期券発行所で申込み用紙に記入のうえ、学生証を添えて提出すると購入できます。「裏面シール」の通学定期乗車券発行控欄が一杯になったときは、新しいシールを交付いたしますので、**学生生活支援課**（厚木キャンパスは学生サービス課）に申し出て下さい。

なお、学生証以外に「通学証明書」を提出しないと定期券が買えない路線があります。「通学証明書」の必要な学生は、学生生活支援課（厚木キャンパスは学生サービス課）に学生証を添えて申し込むと即時発行されます。

※その他の路線についても、「通学証明書」の要求があれば、その指示に従って購入して下さい。また、2つ以上の路線使用の場合は最寄り駅の指示に従って下さい。

### 学生証（カード）裏面シール

（通学定期乗車券発行控）



## 学割証(学校学生生徒旅客運賃割引証)

### ○世田谷キャンパス

10号館1Fの証明書自動発行機で発行します。

（稼働時間：授業のある日）8：30～19：30

### ○厚木キャンパス

研究棟 1 階の証明書自動発行機で発行します。

(稼働時間) 8:30~17:00

○自動発行機が故障して使用できない場合は、学生生活支援課（厚木キャンパスは学生サービス課）窓口で発行しますので申し出て下さい。

- ・片道100kmをこえる帰省，正課（外）活動等の場合に発行されます（割引率2割）。
- ・発行枚数は年間（1年度）1人10枚で，1回の発行は2枚が限度です（有効期間は3ヵ月）。
- ・学割証は本人以外使用出来ません。不正使用の場合は3倍に相当する額を追徴されます。

## 改姓(名)届・本籍地の変更届

氏名・本籍地に変更があった場合は**学事課**（厚木キャンパスは学生サービス課）所定の用紙に記入し，戸籍抄本を添えて届け出なければなりません。なお，用紙は学生生活支援課にも置いてあります。

## 休学願

病気その他の理由で3ヵ月以上修学できないときは，その理由を証明する書類（病気の場合は医師の診断書）を添え，**学事課**（厚木キャンパスは学生サービス課）所定の休学願をクラス担任，主事，学科長を経て**学事課**（厚木キャンパスは学生サービス課）に提出し，学長の許可を得れば休学することができます。したがって休学するような事態が生じたときは直ちに願い出て下さい。休学開始の日を2週間以上さかのぼって願い出ることはできません。また休学を願い出るときは，休学期間終了時までの学費を納入したうえで，願い出なければなりません。なお，休学期間中の授業料（月割計算）は半額となります。

注）休学しようとするときは，まず**学事課**（厚木キャンパスは学生サービス課）に相談して下さい。

## 復学願

休学の理由が解消し復学しようとするときは，原則として学期の終わりの前月（2・8月中）に，あらかじめ**学事課**（厚木キャンパスは学生サービス課）所定の復学願を学級担任，主事，学科長を経て**学事課**（厚木キャンパスは学生サービス課）に提出しなければなりません。

## 退学願

病気その他家庭の事情などで退学しようとするときは，**学事課**（厚木キャンパスは学生サービス課）所定の退学願に学生証を添えて，クラス担任，主事，学科長を経て**学事課**（厚木キャンパスは学生サービス課）に提出しなければなりません。もし学生証を紛失したときは，その旨を退学願の中に明記しなければなりません。

## 学費

学費振込依頼書は全納及び第1回は4月上旬に，第2回は9月上旬に発送します。授業料及び整備拡充費は，東京農業大学学則第36条及び第36条の2並びに東京農業大学短期大学部学則第37条及び第37条の2により，第1回と

第2回に分けて分割納入することができます。

ただし、地震、風水害、干害、冷害、倒産、家計維持者の死亡等の特別な理由により、期日までに納入できない場合は、「学費延納願」に理由を明記のうえ保証人連署で、**経理課**（厚木キャンパスは**学生サービス課**）に願い出なければなりません。

手続き等詳細は、**経理課**（厚木キャンパスは**学生サービス課**）に相談して下さい。

## その他の取扱内容

### アルバイトの紹介

アルバイト情報の紹介を、世田谷キャンパスでは常磐松会館本館1階喫茶「アミ」横の警備室兼事務室（管轄は**学生生活支援課**）で、厚木キャンパスでは**学生サービス課**で行っています。

#### ①手続き

アルバイト求人票は、各キャンパスのアルバイト紹介窓口の所定の掲示板に掲出します。希望者は各キャンパスの紹介窓口に申し出て下さい。窓口備え付けの求人票ファイルで詳しい就労条件や応募条件を確認してから、求人先へ直接連絡をとって下さい。ただし、**1年生への紹介は、学生生活に慣れた頃、夏休み以降に行います。**

#### ②トラブルが生じた場合

就労先でトラブルが生じた場合は**学生生活支援課**（厚木キャンパスは**学生サービス課**）に相談して下さい。

**学生生活支援課**で紹介した以外のアルバイトでのトラブルについても、**学生生活支援課**（厚木キャンパスは**学生サービス課**）で相談を受け付けています。

アルバイトの紹介は、皆さんの学業や生活が犠牲にならないように業種や職種を選択して紹介しています。アルバイトの目的は人それぞれですが、学業や生活を犠牲にしてまで行うことは、やはり避けなければなりません。

### 落とし物・紛失物について

キャンパス内で所持品を紛失したり盗難にあった場合は、**学生生活支援課**（厚木キャンパスは**学生サービス課**）に届け出て下さい。届けられた拾得物について、落とし主が判明したものは**学生生活支援課**（厚木キャンパスは**学生サービス課**）から本人宛に連絡します。落とし主が分からない場合は、**学生生活支援課**（厚木キャンパスは**学生サービス課**）でまとめて3ヶ月間保管します。貴重品等は自己管理し、盗難にあわないように充分気をつけて下さい。

### 大学への意見

学生生活を送る上で、日頃、困っていることや改善してほしいことなどの意見がある場合は、**学生サービスセンター**長宛に（g-center@nodai.ac.jp）電子メールを送って下さい。

投稿の際は、学籍番号・氏名等を明記してください。記載内容について確認（説明をお願い）する場合があります。

いただいた意見は、充分検討し、業務運営の改善に役立てていきます。真摯な意見をお願いします。

# 奨学制度

人材育成の為、成績や人物ともに優秀な学生や、経済的理由により修学が困難な学生に対して、各種奨学金や教育ローンの制度があります。奨学金の申し込みや貸与には成績や人物、家計基準等の付帯条件があります。以下に本学で取り扱っている奨学金制度を一覧表にして説明いたします。

奨学金制度の詳細や不明な点は、**学生生活支援課**（厚木キャンパスは学生サービス課）にお問い合わせ下さい。

## 学内奨学制度

種類	出願資格・対象	金額	備考
特待生	1年次 減免 一般入試の合格者を対象として、一般入試における得点（成績）をもとに選考される	授業料の全額免除	○期間は1年間 ○年度毎に選考する ○選考人数は入学定員（各学科の学年ごとの定員）学生数の3%以内 ○平成23年度の特待生数（世田谷・厚木） 大 学 190名 短期大学 15名
	2年次以上 減免 前年度までの学業成績（秀と優の単位修得率75%以上）と人物評価等を総合して学科長から推薦を受け選考される	授業料の半額免除	
「人物を畑に還す」奨学金	減免 ○卒業後に出身地等において農林水産及び関連産業の担い手（専業）となる者 ○東京都、神奈川県、埼玉県及び千葉県以外の日本の道府県に所在する高等学校等出身者 ○正保証人が東京都、神奈川県、埼玉県及び千葉県以外に居住する自宅外通学者 ○経済的修学困難者	農大と国立大学との学費の差額を考慮し、授業料から60万円を免除	○留学生を除く ○期間は1年間 ○毎年申請し、選考
東京農業大学・東京農業大学短期大学部 奨学生	貸与 入学後、家計の急変や災害等の理由によって、経済的に修学が困難になった者で、援助が必要な日本人の学費延納者	年額50万円 ※無利子	○本人の申請にもとづき所属学科長が推薦する ○貸与期間は1年間、但し継続は妨げない ○返還は、卒業・退学・除籍後、年払いで15年以内
東京農業大学・東京農業大学短期大学部 外国人留学生奨学生	支給 学業、人物ともに優れかつ経済的理由により修学が困難である外国人留学生	月額45,000円	○本人の申請にもとづき留学生専門委員会が審議し、学長が決定する ○支給期間は1年間、但し継続は妨げない
東京農業大学・東京農業大学短期大学部 教育後援会特別奨学金	貸与 入学後、保証人の怪我や病氣入院または死亡等によって経済的に著しく修学が困難になった者	学費相当額（全額または一部） ※無利子	○貸与期間は、大学は入学から4年間、短大は2年間 ○返還は、卒業後6ヵ月を経過後10年以内
佐竹利彦記念 外国人留学生奨学生	支給 本学に学籍を有する私費外国人留学生にあって、特に有為な人材で、かつ学費の負担が困難と認められる者（経済援助を行うことにより、母国の発展に寄与する人材の育成に資することを目的とする）	奨学基金の果実の範囲内	○本人の申請にもとづいた学部長からの推薦候補者について、学生部長が資格審査し、学長が決定する ○支給期間は1年間、但し継続は妨げない
運動選手特待生	免除 運動選手として特に優れた実績と、将来における特段の活躍が期待される優秀な人材で、第一種と第二種がある	第一種 入学金・授業料・整備拡充費を免除	○特待生の期間は当該学生の最短期間の就学年数 ○強化指定部またはそれに準ずる部の部長から学長に申請する ○入学後、運動成績を審査委員会が毎年確認する
		第二種 授業料を免除	
国際食料情報学部 特別留学生	減免 海外姉妹校学長及び校友会海外支部長の推薦を受けた、成績及び人物優秀な者	入学金・授業料・整備拡充費・実験実習費・諸会費の納付金の全額	特別留学生の期間は4年間とし、学長が認めたときは延長することができる

○「学費の分納・延納制度」を設けており、経済的援助の一助としている。（p.39「学費」を参照のこと）  
○「外国人留学生指定宿舍補助実施要綱」を定め、国際バイオビジネス学科にあっては外国人留学生の住居費の一部補助（一律10,000円）を行っている。

## 学外奨学制度・日本学生支援機構奨学金

種 類	出願資格・対象	金 額	備 考
第一種奨学金 ※無利子	貸与 1 年次	<ul style="list-style-type: none"> <li>○出身高校の成績評定平均が3.5以上であること</li> <li>○大検合格者で上記に準ずると認められる者</li> </ul>	平成25年度の貸与月額 は下記金額から選択 (1年次生) [大学] 自宅通学 30,000円 54,000円 自宅外通学 30,000円 64,000円 [短期大学] 自宅通学 30,000円 53,000円 自宅外通学 30,000円 60,000円  ○卒業後、進学(大学院及び学士編入学等)した場合は、終了或いは卒業まで返還が猶予される。 ○貸与開始後、留学・休学・退学等学籍に異動が生じた場合は、大学に申し出なければならない。
	2 年次以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○在籍する学校・学部・学科における成績が上位1/3以内の者</li> </ul>	
[緊急採用] ○家計支持者が失職・破産・倒産・病気・死亡、または火災・風水害により緊急に奨学金が必要になった場合、随時に申し込みができる。 ○貸与開始月は、申し込み年度内の4月を限度として事由発生日以降から翌年の3月まで。			
第二種奨学金 ※有利子	貸与	<ul style="list-style-type: none"> <li>○出身学校または在籍する学校における成績が平均水準以上と認められる者</li> <li>○特定の分野で特に優れた資質・能力を有すると認められた者</li> <li>○学修に意欲があり、学業を確実に修了できる見込みがあると認められる者</li> <li>○大検合格者で上記に準ずると認められる者</li> </ul>	平成25年度の貸与月額 は下記金額から選択 30,000円 50,000円 80,000円 100,000円 120,000円  ○卒業後、進学(大学院及び学士編入学等)した場合は、終了或いは卒業まで返還が猶予される。 ○貸与期間中であっても必要に応じて貸与月額を変更することができる。 ○貸与開始後、留学・休学・退学等学籍に異動が生じた場合は、大学に申し出なければならない。
	[応急採用] ○家計支持者が失職・破産・倒産・病気・死亡、または火災・風水害により緊急に奨学金が必要になった場合、随時に申し込みができる。 ○貸与開始月は、4月から翌年3月の間の希望月から卒業予定月まで。		
入学時特別増額貸与 ※有利子	貸与	<ul style="list-style-type: none"> <li>○毎月の貸与月額のほかに、4月の基本月額に定額を増額して貸与を受けることができる。</li> <li>○4月を始期として第一種及び第二種奨学金の貸与を受ける者で、増額貸与を希望する者。</li> <li>○奨学金申請時の家計基準における認定所得がゼロになる者、または「日本政策金融公庫の教育ローンの融資が利用できなかったことについて(申告)」を提出した者。</li> <li>○貸与額は有利子で、10万円、20万円、30万円、40万円、50万円から選択し、奨学金の第1回目の振込時に上乗せされる。</li> <li>○入学時特別増額貸与だけを借ることはできない。</li> </ul>	

### 1. 日本学生支援機構奨学金の貸与予約生について

高校在学中(3年生の1学期)に大学や短大への進学を条件に奨学金を申し込み、貸与(予約)が認められた者は、入学後に本学の学生生活支援課(厚木キャンパスは学生サービス課)から提示される「学校別パスワード」と採用候補者決定通知に印字されている「個人別パスワード」を使用してインターネットから直接入力して届け出て下さい。

### 2. 高校在学中の日本学生支援機構奨学金受給者について

高校在学中に日本学生支援機構奨学金の貸与を受けていた者は、入学後に在学届を学生生活支援課(厚木キャンパスは学生サービス課)に持参して下さい。大学を通して日本学生支援機構に提出します。大学・短大の卒業まで奨学金の返還猶予が受けられます。ただし、留年で卒業が4年以上かかった場合はその限りではありません。

## 学外奨学制度・その他の奨学制度

### 1. 地方自治体・地方公共団体・民間育英奨学事業団体

大学・短大の新入生を対象にして、募集時期は毎年4月から6月頃にあります。

大学に募集要項を送ってくる自治体や団体については、**学生生活支援課**（厚木キャンパスは**学生サービス課**）の学生ポータル（掲示板）で募集をお知らせします。掲示されない自治体や団体については、該当する自治体や団体に直接問い合わせして下さい。

このような奨学制度は、ほとんどの場合、日本学生支援機構の奨学金との併用ができませんので注意して下さい。

### 2. 日本政策金融公庫教育ローン

新入生のみならず在校生も利用することができます。

融資額は学生一人につき300万円以内で、返済期間は15年以内です。詳しくは最寄りの日本政策金融公庫各支店または各相談センターに問い合わせして下さい。

●「国の教育ローン」コールセンター／0570-008656（ナビダイヤル）又は03-5321-8656

### 3. 東京農業大学・東京農業大学短期大学部提携教育ローン

本学では、**三井住友銀行・三菱東京UFJ銀行・みずほ銀行**と教育ローンを提携しています。一時的或いは緊急に必要な場合に利用できます。

融資額は10万円から300万円まで提携銀行によって異なります。融資条件や利子等も提携銀行によって異なります。パンフレットは**学生生活支援課**（厚木キャンパスは**学生サービス課**）に置いてありますが、詳しくは各銀行に直接問い合わせして下さい。

# 防火・防災について

## 1 はじめに

充実した学校活動の基本は、安全・安心です。地震、火災、事故など、私たちの身の回りにはいつ起こるかわからない危険要因が多様に潜んでいます。決められた学内ルールをきちんと守り、災害に強い安全で安心なキャンパスで勉強やクラブ活動ができるようにしましょう。

## 2 火災を起こさないために

- タバコの火の不始末は火災の大きな原因となりますので次のことを守って下さい。
  - キャンパス内は、屋外の喫煙指定場所以外は**全て禁煙**としています。  
(教室・研究室・部室・食堂・図書館・寮室内・トイレなどは禁止)
  - 学内外での**歩きながらの喫煙は厳禁**です。都内では、区条例などにより罰金が科せられていますから、気を付けて下さい。
  - タバコの吸い殻は、側溝などへ投げ捨てないで下さい。キャンパス美化にご協力願います。
  - 吸い殻は、ごみ箱ではなく、必ず専用の容器、吸い殻入れへ捨てて下さい。
  - 研究室や部室では、地震時に危険な物が多量に使用されており、電気ストーブ、ガスストーブ、灯油ストーブなどの持ち込みや使用を禁止しています。当然、ガソリンや灯油などの危険物の保管も禁止です。
  - 本学は、実験実習が多く、研究室では多種多様な実験を行っています。危険物、化学物質を使用する場合は、担当教員の指導のもと、決められた方法、手順を守り十分注意して取り扱って下さい。薬品類は、指定された保管場所に必ず、戻しておいて下さい。
  - 劇毒物などの化学薬品の保管庫は、担当教員の指導のもと、必ず施錠して管理して下さい。本キャンパス内は、不特定の人が容易に入室することができますので、お互いに十分注意して下さい。  
また、3.11の時は、薬品が棚から落下して、混触火災を起こしています。大事に至りませんでした。十分に気を付けて下さい。
  - 本学の研究室内では、酸素、水素、窒素、一酸化炭素、アンモニア、金属ナトリウムなどを始め、危険な多種多様な高圧ガスボンベが使用されています。これらは、実験器具などに接続されていますが、転倒した場合などは、ボンベの接続部が外れることも予想されますから、地震時を想定して、ボンベの転倒防止のための固定を**確実に**行って下さい。
- (防災標語) 「実験中に グラッときたら ボンベの閉鎖と 火の始末！」
- ボンベの搬送や交換は、原則として専門業者に行わせて下さい。学生や院生は、移動や接続をする場合がありますが、ガスが漏れることがありますので、必ず指導教員の確認を得て下さい。

## 3 火災が発生したら

- 火災を発見したら落ち着いて、被害を最小限にするために次の行動をとって下さい。
- 早く周りの人たちに「火災」を知らせるため、**大声で「火事だ〜！」**と叫んで、他の人の協力を呼びかけて下さい。  
いざというときには声が出せないものですが、大きな声を出すということは、周りの人に火災を教えると同時に自分を落ち着かせる効果があります。
- 屋内消火栓の火災報知機(非常ベル)を押して、**ブザーを鳴動**させて下さい。屋内消火栓を知っていますか。各校舎の廊下や通路に設置してあります。屋内消火栓の箱の上部には、非常ベルがありますので、火災などを発見した場合は、押して警報を鳴らして下さい。直ぐに、警備員や設備担当者が駆けつけます。

●火災、救急の場合は、**119番通報**（東京消防庁総合指令室）して下さい。

（例）「東京消防庁です。火事ですか？救急ですか？」**「火事です」**「何区何町何丁目何番何号ですか。」**「世田谷区桜丘1丁目1番1号 東京農業大学2号館2階です」**「何が燃えていますか。」**「実験室が燃えています」**「ケガ人はいますか」「ケガ人はいません」「逃げ遅れた人はいますか」「**全員避難しました**」「わかりました。消防車すぐに向かいます」

○119番通報後、世田谷キャンパス警備本部 内線5555 外線03-3426-6087 又は厚木キャンパス中央監視室 内線3,100 外線046-270-6221 へ通報して下さい。

○近くにある消火器や屋内消火栓を活用し、周りの人たちと協力して消火して下さい。天井まで炎が上がったら、ドアを閉めて避難して下さい。（消火器等の取扱いは、各キャンパスの消防訓練で別途指導します。）

○煙が立ち込めていたら姿勢を低くして、避難してください。

## 4 火災時の避難方法は

○室内の火災の勢いが強く、身の危険を感じたらドアは閉めて避難して下さい。

○煙の中を避難する時は、ハンカチなどで口や鼻を覆い鼻はつまんで下さい。

○化学薬品は、容器の蓋を閉めて避難して下さい。

○裸火は消し、ガスの元栓、電気器具の電源は切ってから避難して下さい。

○高圧ガスボンベは、バルブを閉鎖してから避難して下さい。

○サイレンが鳴ったら、部屋から出て非常放送を聞いて下さい。

○非常放送や教職員の指示に従って避難して下さい。

## 5 地震から身を守るためには

○揺れを感じたら、頭部を守り、机の下へ入って下さい。

○揺れが収まった時に出入口は開け、いつでも避難できるようにして下さい。

○実験は直ちに中止し、薬品の容器の蓋は、閉めて下さい。

○都市ガスのコック、電気器具のブレーカーは閉鎖して下さい。

○使用中の高圧ガスボンベは、バルブを閉鎖して下さい。

○揺れが収まってから、非常放送、教職員の指示により避難を開始して下さい。

○エレベーターで揺れを感じたら、全階ボタンを押して最寄りの階から屋外へ避難して下さい。途中で止まったままの場合は、非常ボタンを押し管制室、携帯電話で警備本部（03-3426-6087）へ連絡して下さい。

○避難する時は、校舎から離れてガラスや外壁の落下に注意して避難場所へ避難して下さい。

【世田谷キャンパス】グラウンド・野球場へ避難

※ただし、1号館にいる学生等は、身の安全を図り、指示あるまでそのまま待機して下さい。

【厚木キャンパス】キャンパス内指定場所へ避難

## 6 大規模地震発生後は

○大規模地震が発生した場合は、むやみに学外に出ないで下さい。

○安否を確認しますので、指示あるまで避難場所又は1号館に待機して下さい。

○学外にいる学生は、必ず各学科の指導教員へ自分の安否を報告して下さい。

○学内外の被害状況や交通状況等により学内に留まらせるかどうか本学で判断します。

○長時間に及ぶ場合は、非常用飲料水、食料などを配布します。

○就寝する場合は、就寝場所を指定し寝具類を配布します。

- 本学は、学生の皆さんの障害とならないように留意しつつ、帰宅困難者をキャンパス内に受け入れますのでご協力願います。
- 学内外にいる学生は、本学から連絡する情報に常に留意して下さい。

## 7 防災訓練などに参加しよう

- 本学では、毎年、春は**避難訓練**、秋の収穫祭前には**初期消火訓練**を行いますので積極的に参加して下さい。
- 秋は、実験研究室など、薬品や高圧ガスボンベなど、危険物の安全な取扱いについて「**防災管理セミナー**」を開催しますので積極的に参加して下さい。
- 毎年行う**普通救命講習会**は、救急隊到着までの救命処置や**AED**の操作を習得できます。取得した「救命技能認定証」は、就職先でも求められます。ポータル等でお知らせしますので積極的に参加して下さい。

## 8 やっておきたい地震対策は

### 学内では

- 避難口や避難場所を事前に確認しておいて下さい。
- 避難通路や非常口となる出入口、非常扉、屋内消火栓の周辺には、障害となる物品等は置かないで下さい。
- 書棚、薬品庫などは転倒や落下を防ぐため、転倒防止金具などで固定して下さい。
- 冷蔵庫やコピー機などは暴走を防ぐため、暴走防止器具などで固定して下さい。
- 学内には、消火器、屋内消火栓、避難器具を消防法に基づき配置しています。普段から位置を把握し使用方法を習得して下さい。
- 徒歩で避難することを想定して、帰宅経路を事前に調べて置いて下さい。
- 徒歩で帰宅することが考えられるので、スニーカーなどを用意しておいて下さい。
- 携帯電話が使用できないことを想定して、家族との連絡方法を決めておいて下さい。
- 研究室、クラブ部室等には、停電に備えてランタン、懐中電灯や携帯ラジオを用意しておいて下さい。

### 自宅や寮では

- 飛散ガラスから身を守るため、軍手、スニーカーなどを用意しておいて下さい。
- 非常用持出品を決めておき、早期に持ち出せるようにしておいて下さい。

(例)

貴重品（お金・携帯電話等）・非常用食料・飲料水（1日用）・下着・衣類・  
タオル・雨具・懐中電灯・ラジオ・軍手・スニーカー・カイロなど

# 大地震から自分を守る

世田谷  
キャンパスで

## 大地震 が発生 したら

身を守る

実験を中止する

消す 逃げる 助ける

被害を知る

テーブルにもぐる カバンで頭部を覆う  
危険ならすぐ逃げる

火の始末 電源を切る  
都市ガスの元栓 高圧ガスボンベのバルブを閉める

出火したら 大声で知らせ初期消火 ケガ人を守る  
危険なら戸を開けて逃げる

閉じ込められないように扉をあける  
安全を確認し 指示を待つ

### 大地震がきたら

#### ●身を守る



机の下にもぐる

頭をカバンで守る

ドアを倒れる

#### ●実験を中止



全ての実験を  
止せやめ

高圧ガスボンベの  
栓を閉める

ガス栓を閉め、電気をOFF  
(電源OFF)

### 大地震がきた後は

#### ●むやみに学外に出ない



むやみに学外に出ない

隠れ込んで逃げる

足腰マッシャーとAED

#### ●指示を待つ



非常放送をよくきいて

家族への安否確認

怪傷の処置

### 火災が起きたら

#### ●知らせる



大声で叫ぶ

非常ベルを押し

119番と警備本部へ

#### ●消す



消火器を使う

消火シート

屋内消火栓を使う

#### ●逃げる



音を聴くして

避難はしるを抜け合って

みんなで協力

### やっておきたい対策

#### ●事前の準備



研究室の備品

履き慣れたスニーカー

家族別品

#### ●転倒暴走の防止



マットを固定

エレベーター、人型実験機器の固定

#### ●訓練・セミナーに参加



防火訓練

避難訓練

救命講習をうけよう

あわてず 騒がず 落ち着いて

東京農業大学世田谷キャンパス危機管理委員会

2013.11

# 世田谷キャンパス リサイクルシステム

このリサイクルシステムは、世田谷キャンパス内でのルールです。みなさんのお住まいとなる地域の排出方法とは異なります。

## — 分別ボックス用 —

～混ぜればごみ・分ければ資源～

### 燃えるごみ

- ☆ 紙くず(紙コップ等)
- ☆ 割り箸
- ☆ 布類(タオル等)
- ☆ 紙パック(ジュース類等)
- ☆ 木くず(25cm以下)

### 燃えないごみ

- ☆ ビニール類(ビニールテープ、ラップ等)
- ☆ 弁当容器・食品トレイ  
(生協トレイ以外)
- ☆ プラスティック類  
(ボールペン、FD・CD、ストロー等)
- ☆ 皮革類(靴、鞆、ベルト等)
- ☆ アルミホイル
- ☆ 金属類(クリップ等金具類)
- ☆ ゴム類

### リサイクルされる物

#### 生ごみ

- ☆ 食べ残し(水分を切ること)

#### スチール缶

- ☆ スチール缶 

#### 古紙

- ☆ 雑誌・本 ☆ 新聞紙
- ☆ お菓子箱(紙製)
- ☆ プリント用紙 ☆ OA紙  
(金属、フィルム・セロハンテープ等は取り除く)

#### アルミ缶

- ☆ アルミ缶 

#### ペットボトル

- ☆ ペットボトル  
(キャップ・ラベルは燃えないごみへ)

#### ビン

- ☆ ビン  
(キャップは燃えないごみへ)  
(ビールビン、一升ビン等のリターナブルビンはリサイクルステーションへ)

#### リサイクルトレイ

- ☆ 生協弁当容器のみ  
(一番飯、グリーンのみ)

### 環境管理課からのお願い

- ☆ 分別ボックスに入らないものは排出しないでください。直接、リサイクルステーションにお持ちください。
- ☆ 危険な物・ライター・電池は、直接リサイクルステーションへお持ちください。
- ☆ タバコの吸殻は喫煙所の灰皿へ排出してください。

世田谷キャンパスは、**廃棄物の発生抑制の推進と廃棄物のリサイクル率向上**に取り組んでいます！ご協力をお願いします！

※ 世田谷キャンパスには、この「分別ボックス用」の他に「研究室・事務室・農友会等団体用 1」「研究室・事務室・農友会等団体用 2」「実験廃棄物用」の3種類があります。廃棄物の種類、場所によって異なります。

東京農業大学リサイクルシステムに関するお問い合わせは、環境管理課 内線(2263) まで **リサイクルステーション受付時間 8:30~16:30**

# 厚木キャンパス 廃棄物の出し方

(2009年10月開始)

## 基本事項

- ① 所管名・研究室名を明記して出すこと
- ② 場所・日時・ルールを厳守すること  
長期休業中(夏期・冬期休業など)の取り扱いとは別途連絡する
- ④ 廃棄物伝票が必要な場合は排出場所に持込む前にエコセンター事務室に連絡すること 連絡先=エコセンター事務室 内線2110
- ⑤ 廃棄物伝票は、教職員ポータルから出力すること
- ⑥ 廃棄物伝票は、廃棄物伝票の種類欄1種類につき1枚に記入すること



再資源化



可燃処理



埋立処理

区分	品目・種別	注意事項	廃棄物伝票・受付場所
 カ ン	アルミ缶、スチール缶 スプレー缶 缶詰・菓子の缶	空にして洗ってつぶすこと スプレー缶は穴を開けること 缶詰の缶は空にして洗うこと	エコステーション (研究棟裏) (本部棟裏)  ※入りきらない場合は持ち 帰り、後日排出すること
	 ペットボトル	PET製品 空にして洗ってつぶすこと !キャップ・ラベルはプラスチックへ !PET繊維製品は可燃へ	
	 プラスチック	容器・包装等プラスチック プラスチック製品 空にして洗うこと シール・テープはできるだけはがすこと	
	 ビ ン	飲料・飲食用 空にして洗うこと !割れたものは紙で包んで「危険」と表記して不燃物へ !酒瓶・ビール瓶は販売店へ	
 可燃物	汚れた紙、カーボン紙 印刷機のマスター、感熱紙 布、皮革、ゴム類、木屑 少量の生ゴミ	割り箸などでゴミ袋が破れないようにすること 金属やプラスチックは取り除くこと 長いもの、大きいものは40cm以下に切る 生ゴミは水分をしぼること⇒大量の場合は総務課へ相談	エコセンター事務室 (長谷門脇) 内線2110 月~金12:30~16:00
 紙	ダンボール	ダンボール製品 つぶして出すこと。2箱以上は紐で束ねること	
	新聞・雑誌 シュレッダー	新聞紙、週刊・月刊・漫画誌 シュレッダーくず シュレッダーくすだけを二重のビニール袋に入れること	
	その他の紙	封筒、チラシ、メモ レポート用紙、OA用紙 ボール紙、菓子箱 紙袋またはダンボール箱に入れ封をすること !ティッシュ、油污れのは可燃へ	
機密書類	個人情報記載されたもの等 ダンボール箱に入れ封をし「機密」と明示すること !溶融炉への投入に立会いを希望する場合は総務課へ「機密」の表記がない場合「その他の紙」として取り扱いします		
 粗大ゴミ 不燃物 産業廃棄物	粗大ゴミ	什器・備品 電気製品 農業資材 備品ラベルがあるものは備品廃棄手続きを行うこと パソコン、パソコン用周辺機器類を含む 土などの汚れは取り除くこと	 持ち込む前に 下記に電話を すること
	家電5品目	テレビ、冷蔵庫、洗濯機 エアコン(室内機・室外機) 冷凍庫 備品ラベルがあるものは備品廃棄手続きを行うこと 廃棄物伝票に内線番号と外線電話番号を明記すること	
	不燃物 産業廃棄物	金具、電池、ガラス、陶器 その他大量、大型のもの 割れたものは紙で包み「危険」と表記すること !不明な点は総務課またはエコセンター事務室へ	
 実験廃棄物	廃液、廃油 薬品試薬副生成物	取扱注意の物品は、薬品1種類ごとに伝票を作成すること 薬品・試薬容器(ビン・ポリなど)は実験廃液と同様にすること 運搬には十分注意すること	エコセンター事務室 (長谷門脇) 内線2110 月~金12:30~15:30  大量の生ゴミは 総務課に相談!
	医療系廃棄物(感染性) (注射器・注射針・血液で汚染されたもの)	メディパールの密閉すること メディパールのフタが開まらなかつたらエコセンター事務室に連絡すること。運搬には十分注意すること	
	実験系廃棄物	メディパールの密閉すること プラスチックシャーレは処理袋でオートクレープにかけること 運搬には十分注意すること	
	堆肥化可能な実験廃棄物 (食品・植物・大量の生ゴミ)	排出前に総務課に相談 堆肥化できない物(プラスチック・金属等)を除去すること 圃場等で処理できないもの	
 屠体	屠体、へい獣、死竜卵	二重のビニール袋に入れること	 保健所報告の屠体は 総務課に連絡!
	家畜保健衛生所報告の屠体	速やかに総務課に連絡すること	
 汚物	堆肥化できない糞、残渣、敷料 糞尿で汚れた新聞紙など	環境ホルモンが含まれているもの 水を切り、汚水が出ないようにビニール袋に入れること 堆肥化が可能なものは排出せず総務課に相談する	汚物置場
 その他	分別が不明な廃棄物	上記事項に当てはまらない廃棄物は、総務課に相談すること	総務課 内線5051

# 学術情報センター・図書館

## 世田谷学術情報センター(図書館)

大学図書館は中学校や高校までのいわゆる図書室とはまったく次元が異なる、大学という高等教育・研究施設にとってはなくてはならない重要な基幹施設です。情報化時代と言われる現代、図書館は急速に増え続ける国内外の学術情報を選択・収集・整理・蓄積し、多くの学生や教職員に様々なサービスを提供するのがその使命といえます。

1907(明治40)年、本学の前身である大日本農会付属私立東京高等農学校時代に図書部が創設され、閲覧奉仕活動を開始したのを皮切りに幾多の変遷を経て現在に至っており、世田谷キャンパスの世田谷学術情報センター(図書館)のほか、厚木キャンパスでは「厚木学術情報センター」、オホーツクキャンパスでは「オホーツク学術情報センター」が図書館としての機能を果たしています。

生命科学・環境科学などを含む広義の農業・農学に関連する分野の資料を中心に収集し、3キャンパス全体での蔵書数は約80万冊以上に及んでいます。また、3キャンパスをネットワークで結んで情報の共有化を図るとともに、図書の貸借などでも協力体制を整えて利用者の要望に応じています。

世田谷キャンパス図書館は13号館東側、メタセコイヤの大木があるキャンパス中央中庭側に位置しています。1-3階の各フロアにある図書・雑誌・視聴覚資料・各種学術情報検索ツールが利用でき、コンピュータを駆使した様々なサービスを用意していますので、効果的な学習・研究の場として大いに活用して下さい。図書館では、学習の場所として静かな環境を用意して利用者の皆さんに提供するとともに、学外文献複写の受付やその他様々な研究活動のサポートを行うために門戸を開いていますので、是非、一度気楽に立ち寄ってみて下さい。図書館を上手に使いこなせば、学生生活がより有意義なものになることは確実です。

## ■ 図書館の紹介

図書館では学生のみなさんが考えている以上にいろいろなことができます。下記の項目にざっと目をとおして下さい。あとで必ず役に立つ時が来るはずですよ。例えば、「開館時間を知りたい」という場合は、p.71の1-②「開館時間および休館日」の項を見ると詳細を見ることができます。図書館では、皆さんが利用するにあたり、様々なサポートを行ったり、相談にのっていますので、スタッフに気軽に声をかけて下さい。

### 1 農大図書館の紹介

- ①世田谷学術情報センター(図書館)フロアマップ
- ②開館時間および休館日
- ③図書館で守ってほしい最低限のルール
- ④図書館に意見要望を伝えて下さい

### 2 図書資料を探すときには…

- ①図書館にある図書や学術雑誌を読みたい
- ②最新の学術雑誌を見たい
- ③学術雑誌のバックナンバーを見たい
- ④農大の教員の著書を見たい
- ⑤新聞や一般の雑誌を気軽に読みたい
- ⑥是非、購入してほしい図書がある
- ⑦図書の予約をしたい
- ⑧資料が見つかったのでコピーしたい

### 3 調べたいことがあるときには…

- ①辞書や事典を使って調べ物をしたい
- ②特定の項目に関する統計を年度を追って調べたい



図書館入口

#### 4 情報を収集するときには…

- ①図書館にある図書や学術雑誌を検索したい
- ②インターネットで学術情報を検索したい
- ③過去の新聞記事を参照したい
- ④図書館にあるマイクロ資料を利用したい
- ⑤他大学に直接行って、調べ物をしたい
- ⑥新着図書の情報を知りたい

#### 5 コンピュータを使いたい

- ①図書館のパソコンを利用したい
- ②自分のパソコンを図書館で利用したい
- ③閲覧席でノートパソコンを利用したい

#### 6 図書館に相談できる事

- ①農大にない資料がどの大学・研究機関にあるか調べたい
- ②他大学の図書館や研究機関から資料を取り寄せたい
- ③レポートや卒論作成…情報の集め方がわからない

※図書館23のレファレンスカウンターをご利用下さい。

#### 7 図書館を利用してできる事

- ①学習場所として図書館を利用したい
- ②学術情報の検索方法について講習を受けたい
- ③ビデオテープやDVDを視聴したい
- ④視聴覚関連機材を借りたい

#### 8 その他の特徴的なサービス

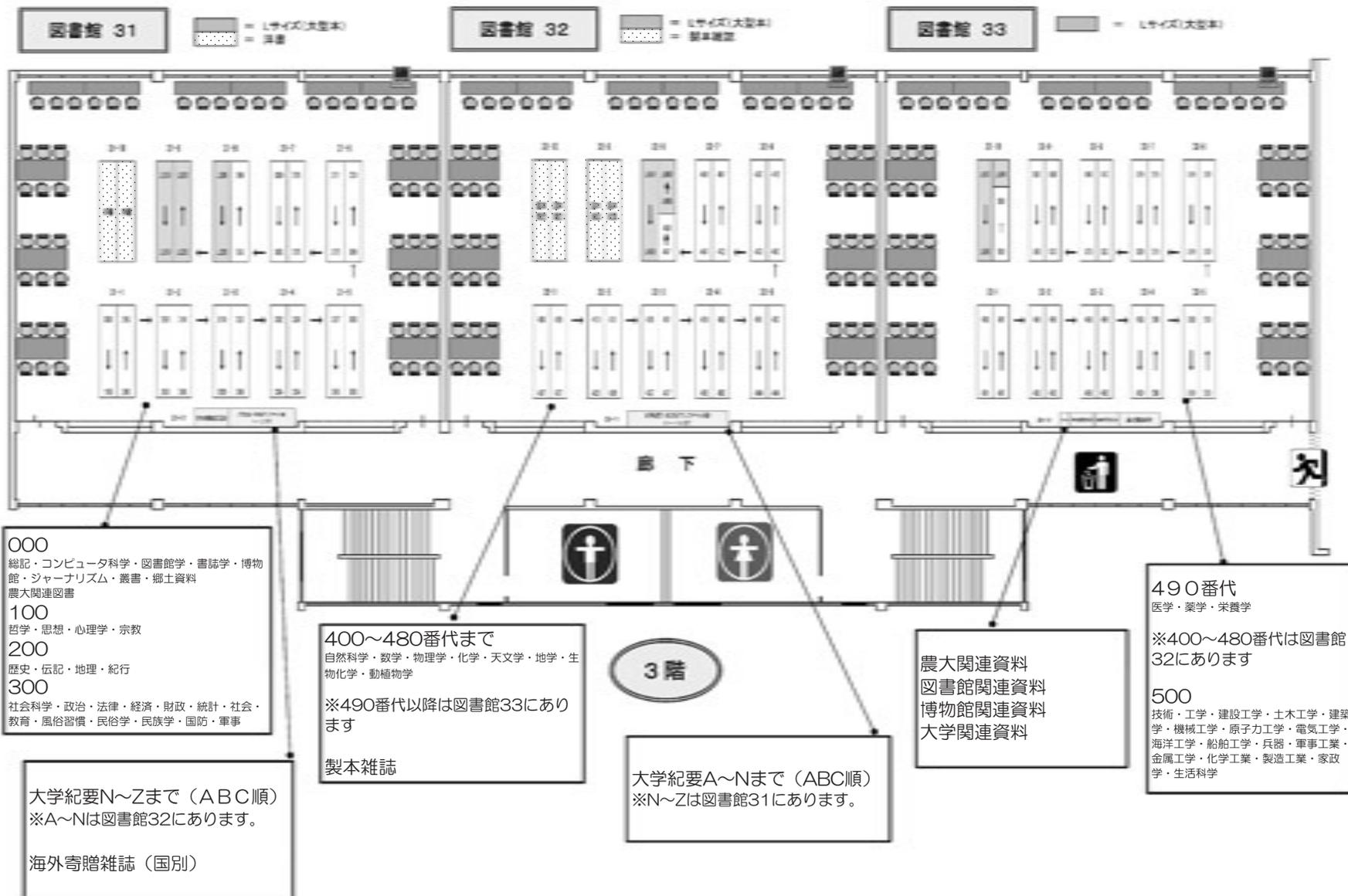
- ①貴重書の電子化と公開
- ②オリジナル資料の電子化
- ③大学史資料の収集、保管、公開



館内の書架







## 1-② 開館時間および休館日

### 開館時間

	月 - 金曜日	土 曜 日	
平常授業時 および試験期間中	9 : 00 - 21 : 00	9 : 00 - 17 : 00	試験期間には日曜日など、 休日開館をする場合があります。 (詳細についてはホームページでお知らせします。)
上記以外	9 : 00 - 20 : 00	休 館	

### 休 館 日

- |                  |                |                  |
|------------------|----------------|------------------|
| 1 日曜日および国民の祝日    | 4 大学が定めた一斉休業日  | ※ 2・3については休講日の場合 |
| 2 3月6日（法人記念日）    | 5 その他、臨時に必要な場合 |                  |
| 3 5月18日（大学創立記念日） |                |                  |

### そ の 他

※図書館の入館・退館には学生証が必要ですので、忘れずにお持ち下さい。

出入口のゲートは磁気式になっているので、ゲートの溝に学生証を差し込んで出入りして下さい。



入口ゲート



入口ゲート カード差し込み口

※月に1度、館内整理日があります。この場合、開館は11:30からとなります。

※開館日・開館時間の変更や試験期間中の休日開館日等については、カウンターのスタッフに問い合わせるか、ホームページや館内掲示、インフォメーションカレンダーでお知らせしますので、必ず確認して下さい。

## 1-③ 図書館で守ってほしい最低限のルール

- ① 図書館の資料および備品は大学全体の大切な財産です。汚損しないよう丁寧に扱って下さい。万が一、図書を紛失したり、汚損した場合は至急、図書館に連絡して下さい。
- ② 貸出図書は紛失しないように注意し、返却期限の遵守をお願いします。返却期限が過ぎても返却されない（延滞）場合、その延滞図書を返却しないと次の図書を借りることができないというペナルティが科せられますので注意して下さい。また、館内で利用した図書は必ず元の位置に戻して下さい。
- ③ 館内では、大声で話したり、他の人の妨げになるようなことは慎み、お互いに快適に利用できるように心がけて下さい。
- ④ 館内では飲食・喫煙ならびに携帯電話での通話を禁止します。
- ⑤ 荷物を置いて席を立つことはしないで下さい。万が一、紛失等が発生しても図書館では責任を負いません。貴重品の管理には各自が十分注意して下さい。また、試験期間は利用者が多く、満席状態となります。「席取り」目的に荷物を置きっぱなしにすることもやめて下さい。
- ⑥ 館内ではスタッフの指示に従って下さい。

### 1-④ 図書館に意見や要望を伝えて下さい

図書館への意見・要望は「利用者の声」にお寄せ下さい。2Fブラウジング・コーナーに用紙が用意されていますのでそれに必要事項を記入し、利用者の声用のポストへ投函して下さい。後日、図書館からその意見や要望に対して回答を掲示します。もちろん名前などを公開することはありませんので、気楽にご意見をお寄せ下さい。

## 2 図書資料を探すときには…

### 2-① 図書館にある図書や学術雑誌を読みたい（付属のCD-ROMも含めて）

まず、農大図書館にはどんな図書や雑誌があるのかを「東京農業大学蔵書検索」(OPAC)で検索してみてください。図書館には利用者端末が用意されていますのでそれを利用するか、携帯電話からも検索ができるようになっています(4-①参照)。

また、「配置場所」が「外部書庫」となっている場合は、学外施設から取り寄せますので、翌日以降のご利用となります。2Fメインカウンターで申し込んで下さい。

#### <館内での閲覧>

すべての資料は館内で閲覧することができます。閲覧席がありますので手にとって自由に利用して下さい。

注意していただきたいのは、棚から取り出したら閲覧後必ず元の位置に戻すということです。図書は「請求記号」と呼ばれる分類順に並んでいます。間違えて別の場所に戻したり、置き去りにすると、次にその資料を利用する人が図書にたどり着けなくなってしまうのです。

「配置場所」が「教員研究室」となっている場合や、他のキャンパスとなっている場合は2Fメインカウンターに申し出て下さい。



2Fメインカウンター

#### <貸出と返却>

館外貸出が可能な図書はすべて、2週間の期限で4冊まで借りることができます(試験期と長期休暇中は期間・冊数に変更となりますので注意すること)。付属でCD-ROMが付いている場合、そちらも貸出していますので1Fカウンターに申し出て下さい(別に手続きが必要です)。CD-ROMは館内の利用者端末でも見ることができますので利用して下さい。

世田谷キャンパス図書館には約10万冊の図書が請求記号順に並んでいるほか、指定図書コーナーには教員が指定した講義に関連する図書が1タイトルにつき複数冊、学部・学科別に並んでいます。

貸出手続きは1Fまたは2Fメインカウンターで受け付けています。学生証が必ず必要となりますので、忘れないよう、注意して下さい。また、返却の際も同様にカウンターで返却手続きを行って下さい。貸し出された資料の返却は直接、棚には戻さないで下さい(閉館時は正面出入口にある夜間返却ボックスへ投函して下さい)。

なお、参考図書、統計コーナーの図書、新着学術雑誌や大学・研究機関の刊行物、製本雑誌などは禁帯出となっており、館外貸出はできません。館内で閲覧し、必ず元の位置に戻して下さい。ただし、辞書については図書館11に貸出可のものが用意されていますので利用して下さい。

本人の貸出状況は、蔵書検索(OPAC)の「利用状況の確認」から確認できます。利用には、学内共通のIDとパスワードが必要です。

### 2-② 最新の学術雑誌を見たい

新着学術雑誌は、図書館2F・3Fに種類別・出版社別に並んでいます。蔵書検索(OPAC)で配置場所を確認して下さい。棚から自由に手にとって利用することができます。ただし、館外貸出はできませんので館内で利用

して下さい。利用の際は表紙に貼付されている「利用表」に必ずチェックを入れて下さい。その場で閲覧し、利用後は次の利用者のために必ず元の位置に戻して下さい。(教職員・大学院生は7日以内5冊まで館外貸出可。ただし、表紙に「貸出可」の印のない最新号は貸し出せません)

なお、農大図書館では今まで冊子体(図書)で購入していた学術雑誌の電子ジャーナル化を推進しており、現在約5,000タイトルの契約電子ジャーナルがホームページを介して利用可能となっています。3キャンパスの学内端末からだけでなく、一部タイトルはご自宅などの学外からも利用できますので是非、活用して下さい。

### 2-③ 学術雑誌のバックナンバーを見たい

学術雑誌のバックナンバーは、タイトルごとに何号かまとまったところで製本し、外部書庫と図書館32で保管しています。バックナンバーを閲覧したい場合は、所蔵検索を行って本学所蔵の巻号数と「配置場所」を確認して下さい。なお、利用は館内のみで、貸出はできません。(教職員・大学院生は貸出可)

### 2-④ 農大の教員の著書を見たい

図書館11に本学教員の著書を集めて学部・学科別に展示している「教員著書コーナー」があります。ここを見れば農大の先生がどのような研究を行っているのかがよくわかるはずです。このコーナーの資料は禁帯出となっており、館内での閲覧のみ可能です。利用後は必ず元の位置に戻して下さい。また、同じ図書が閲覧室書架にも入っていることが多いので、貸出を希望する場合はそちらを利用して下さい。

### 2-⑤ 新聞や一般の雑誌を気軽に読みたい

2Fの「ブラウジングコーナー」を利用して下さい。日刊紙から月刊誌まで様々なジャンルの一般雑誌・各地の広報誌や国内外の新聞(業界新聞もあります)をそろえ、ソファに座ってくつろいだ雰囲気の中で読むことができます。なお、このコーナーの一角には姉妹校関係の資料を集めた棚もあり、留学や海外農業実習に関する情報提供も行っています(姉妹校留学の詳細については国際協力センターへ直接、お問い合わせ下さい)。また、教職に関する雑誌も用意していますので利用して下さい。

### 2-⑥ 是非、購入してほしい図書がある

農大では様々な方法で購入する図書の選定(選書)を行っていますが、利用者の皆さんから出された希望図書の購入もその中のひとつです。蔵書検索(OPAC)で検索してみたが農大にはない場合や、農大図書館で是非、購入してほしい図書があった場合は、2Fメインカウンターへ申し出て下さい。そこに用意してある「購入希望図書申込書」(図書館HPからもダウンロードできます)に図書のタイトルなどの必要事項を記入して提出すれば、学習や研究に必要と判断できるものは原則、購入します。利用できるようになりましたら、学生ポータルでお知らせしますので、2Fメインカウンターまでお越し下さい。また蔵書検索(OPAC)画面の「新規購入依頼」からオンラインで申込むこともできます。

### 2-⑦ 図書の予約をしたい

借りたい本がすでに誰かに貸出されている場合、次に借りるという「予約」をしておくことができます。その図書が返却された段階でポータルの「メッセージ受信一覧の伝言」に連絡が入りますので、入ったらすみやかに図書館2Fメインカウンターまでお越し下さい。2週間取りに来ない場合は自動的にキャンセルとなりますのでご注意ください。なお、試験期間中は予約はできませんのでご了承下さい。

### 2-⑧ 資料が見つかったのでコピーしたい

図書館には館内の資料をコピーするための複写機が設置されていますが、資料のコピーは著作権法上、あくまで個人の学習・研究目的での最低限の利用に制限されており、全ページ複写などは禁止されていますので注意して下さい。利用はセルフサービスになっており、白黒コピーが1枚10円、カラーコピーが1枚50円となっています。持ち込み資料等はコピーできませんので、趣旨に則った適正な利用をお願いいたします。

■ 1Fカウンター横：白黒コピー機1台(カード式)

■ 2Fメインカウンター横：白黒コピー機1台(コイン式)、カラーコピー機1台(カード式)

※カード販売機は2Fコピー機横にあります(1,000円分のみ販売、農大生協では500円分も販売)。カードは生協のコピー機でも利用できます。

### 3 調べたいことがあるときには…

#### 3-① 辞書や事典を使って調べ物をしたい

辞書・事典、図鑑・年鑑類等、いわゆる調べものをするための「参考図書類」については、和書が図書館13に、洋書が図書館22に集められています。禁帯出となっていますので、必ず館内で閲覧して下さい（ただし、館内ならどこでも利用しても可）。また、地図や加除式資料等が図書館22に集められており、禁帯出ですが利用できるようなっています。

#### 3-② 特定の項目に関する統計を年度を追って調べたい

各種の統計・白書類は、和書が図書館23に、洋書が図書館22に集められており、直接手にとって利用することができます。この資料も禁帯出となっていますので、館内で利用後は必ず元の位置に戻して下さい。また、CD版で所蔵している資料（集落カードなど）もありますのであわせてご利用下さい。

### 4 情報を収集するときには…

#### 4-① 図書館にある図書や学術雑誌を検索したい

蔵書検索（OPAC）と電子ジャーナル検索があります。

農大図書館にどんな図書・雑誌があるのか、また、農大図書館に必要としている図書・雑誌があるのかどうかを探す場合、まず、「東京農業大学蔵書検索」（OPAC）で検索して下さい。

電子ジャーナル検索では、本学が契約している電子ジャーナルのタイトルを検索することができます。

館内にはOPAC専用端末が設置されており、本学図書館で所蔵している資料（図書・雑誌）を検索することができます。これらは世田谷キャンパスだけでなく、厚木キャンパス、オホーツクキャンパスの所蔵資料についても検索が可能です。

検索画面に必要項目（キーワードでも可）を入力して、検索を行います。求める資料が決まったら、その資料の「配置場所」と「請求記号」を確認してメモをとるなどし、「配置場所」に表示された部屋に行ってください。各部屋の書架には「請求記号」（図書の背ラベルの記号と番号）順に図書が分類されて並んでいるので、目指す「請求記号」のある書架から本を探して下さい（各書架の側面に「請求記号」の分類番号が表示されていますので参考にして下さい）。

「配置場所」が「外部書庫」になっている場合は、キーボードのPrintScreenボタンを押して（画面上の印刷ボタンは不可）「閲覧請求用紙」をプリントアウトし、裏面に学籍番号・氏名などの必要事項を記入した上で、2Fメインカウンターのスタッフに渡して下さい。学外施設から取り寄せますので、翌日以後のご利用となります。

なお、本学所蔵資料の検索は、これらの専用端末以外のインターネット接続端末からも、図書館ホームページを介して行うことができます。また、自宅（学外）からの検索も可能であり、さらに、携帯電話からも検索可能ですので、こちらも是非、利用して下さい（携帯サイトのURLについては図書館HPのトップにある「Mobile OPAC」をクリックすると確認できます）。

#### 4-② インターネットで学術情報を検索したい

図書館ではホームページを介してインターネット上の様々な学術情報へのアクセス環境を整え、利用者に提供しています。特に文献データベースは、皆さんが授業のレポート課題や卒論研究において情報収集する上で力強い味方になってくれるツールです（文献データベースとは、文献そのものではなく、目指すテーマの文献がどこにどのような内容で記載されているかという情報を集めたものです）。

農大ホームページ→学術情報センター→世田谷学術情報センター（図書館）→情報サービス→データベースの順にクリックし、画面の指示に従い、検索を開始して下さい。なお、検索の結果、たどり着いた文献が本学で所蔵しているかどうかについては、4-①で説明した本学の所蔵検索を行って確認して下さい。本学に所蔵がない場合は他機関から資料を取り寄せることができます（6-②参照）。

図書館内のインターネット接続端末利用に際しては、「ネットワークガイダンス」出席者に配付される利用者ID・パスワードが必要です。未取得者は早急にコンピュータセンター主催のガイダンスを受けて取得して下さい。

本学が契約している文献データベースや電子ジャーナルの利用に際しては、以下の利用ルールを守って下さい。ひとりの不注意な行為によって、全学での利用を停止される場合がありますので注意して下さい。

①大量ダウンロード・プリントアウトの禁止

- ②個人利用以外の利用禁止
- ③複製・再配布の禁止（営利・非営利問わず）
- ④著作権の侵害の禁止

なお、多くの文献データベースや電子ジャーナルは、手続きを経て、自宅などの学外からも利用できます。詳細は、図書館とコンピュータセンターのHPをご覧ください。

#### 4-③ 過去の新聞記事を参照したい

図書館のホームページのデータベースの中にある「新聞検索データベース」を利用すると便利です。朝日新聞や日経のオンライン記事データベースなどがあり、朝日新聞の場合は全文記事の検索が可能となっています。

また、朝日新聞、日本経済新聞、日本農業新聞については縮刷版（冊子体）としても所蔵しており、閲覧が可能です。なお日本農業新聞については、平成22年度よりCD-ROM版へ変更しました。2Fメインカウンターに申し出て閲覧して下さい。

#### 4-④ 図書館にあるマイクロ資料を利用したい

マイクロ資料とはオリジナルの資料をフィルムに撮影したもので、図書館では「官報」「集落カード」等のマイクロ資料を所蔵しています。利用希望者は2Fメインカウンターまで申し込んで下さい（プリント代1枚30円）。なお、「官報」についてはweb上で、「集落カード」などはCD版で新しい情報を閲覧できるようになっています。図書館HPの「データベース」を参照していただくか、2Fメインカウンターへお問い合わせ下さい。

#### 4-⑤ 他大学に直接行って、調べ物をしたい

図書館のサービスのひとつとして「紹介状」の発行があります。皆さんの求める資料が本学にはなく、他大学の図書館で所蔵している場合に直接その図書館へ行って利用できるよう、まず先方の図書館に問い合わせ利用日時等を確認するとともにスムーズな利用のために紹介状を発行するサービスです。他大学の図書館へ行く必要が生じた場合は必ず、2Fメインカウンターで「紹介状」の発行を申し込んで下さい。

#### 4-⑥ 新着図書の情報を知りたい

図書館では毎年、5,000冊以上の新刊図書を購入しています。どのような図書が入ったかについてはOPACの「新着情報」をクリックすると情報を得ることができますので確認して下さい。

## 5 コンピュータを使いたい

### 5-① 図書館のパソコンを利用したい

図書館に設置された利用端末は、インターネットを使っての学術情報の収集・検索に利用するものとなっています。また、現在、学術雑誌についても電子化が進んでおり、これらを閲覧したり、プリントアウトすることを目的とした利用をお願いしています。

プリントアウトする場合、用紙は自前となっておりますので各自、印刷用紙をご用意下さい。ただし、文献データベースや電子ジャーナルの印刷を希望する場合はカラー用紙を渡しますのでカウンターに申し出て下さい。利用に際してはコンピュータセンターが発行する利用者IDとパスワードが必要です。



2F PCコーナー

### 5-② 閲覧席でノートパソコンを利用したい

図書館では利用者みなさんのためにノートパソコンも用意しています。2Fメインカウンターに学生証をもって申し出て下さい。ただし、返却時には必ずデータをバックアップをとって下さい。次の利用者のために初期化してしまいます。また、館内でのみ利用をお願いします。

### 5-③ 自分のパソコンを図書館で利用したい

図書館では貸出し用ノートパソコンや自分のパソコンを持ち込んで使える無線LANを、設置していますので利

用して下さい。ただし、本学のネットワークに接続するために簡単な設定が必要となりますので、用意してあるマニュアルを参照して設定を行って下さい。不明な点がございましたら、スタッフに声をかけて下さい。

## 6 図書館に相談できること

### 6-① 農大にない資料がどの大学・研究機関にあるか調べたい

2Fメインカウンターでは、皆さんが学外の図書館の資料を利用する際のサポートを行っています。皆さんが学外の図書館の資料を利用する際に、まず目指す資料がどの大学の図書館にあるのかを調べる必要があります。ここでは国立情報学研究所とのオンラインにより、資料の所蔵調査を行い、皆さんがスムーズに目的の資料にたどりつけるようサポートしますので声をかけて下さい。

### 6-② 他大学の図書館や研究機関から資料を取り寄せたい

図書館間の相互協力に基づくサービスは4-⑤の「紹介状の発行」以外に、他大学図書館や研究機関から図書<sup>1</sup>の現物取り寄せを行う「学外機関との現物貸借サービス」と、図書や雑誌の一部複写の取り寄せを行う「学外文獻複写サービス」があります。OPACで本学に所蔵がないことを確認した上で、2Fメインカウンターに申し込んで下さい。いずれも取り寄せにかかる郵送料や複写代等は利用者負担となります。

なお、上記のサービスについては図書館HPからオンラインで申し込むこともできますので、こちらも利用して下さい。

### 6-③ レポートや卒論作成…情報の集め方がわからない

図書館23には「レファレンスカウンター」が設置されています。情報の集め方がわからない、どんな図書を調べればいいのだろう？…といった様々な質問・相談にのっています。原則として月曜日から金曜日の10:00-11:30、12:30-17:00にスタッフが常駐して皆さんの学術情報に関する質問に答えています。どんなことでもかまいませんので気軽に声をかけて下さい。



2F レファレンス・カウンター

## 7 図書館を利用してできること

### 7-① 学習場所として図書館を利用したい

館内の各部屋にある閲覧席は、自由に使うことができます。複数名で談話しながら利用したい場合は、図書館23にあるグループ学習室を利用して下さい。2Fメインカウンターにて申込が必要です。

### 7-② 学術情報の検索方法について講習を受けたい

データベースの検索については、検索に関する専門知識を理解して、適切な検索方法を用いれば、的確な検索結果が得られます。日常利用している中でわからないことがあればスタッフに相談して下さい。なお、図書館では利用者ガイダンスの一環として、研究室やゼミ、グループ単位でのデータベース検索基礎講習を要望に応じて実施しています。またデータベース作成側の担当者と呼んで行う検索方法の説明会（個人単位での参加が可能）も開催していますので是非、活用して下さい。詳細はカウンターにお問い合わせいただくか、図書館HPで確認して下さい。



2F グループ学習室

### 7-③ ビデオテープやDVDを視聴したい

2Fには「ビデオ学習コーナー」があり、ビデオテープ・DVD視聴用のブースを用意しています。このDVDについては館外貸出もしていますので利用したい場合はケースを2Fメインカウンターまでお持ち下さい。DVD視聴用のブースが空いていない場合は利用者端末やノートパソコンでの視聴も可能です。その際はヘッドホンを貸し出します。

### 7-④ 視聴覚関連機材を借りたい

図書館では教育・研究を目的にした場合に限り視聴覚機材の貸出も行っています。申込は2Fメインカウンターへ申し込んで下さい。受付時間は平日の10:00-17:00に限定していますので注意して下さい。

貸出機材は以下のとおりです。

- ・ビデオカメラ（デジタル）
- ・ビデオ用三脚
- ・スチールカメラ（デジタル）
- ・スチールカメラセット（マニュアル・55mmマクロレンズ付）
- ・スチールカメラセット（オートフォーカス60mmマクロレンズ・ストロボ付）
- ・スチールカメラ用三脚
- ・スライドプロジェクター
- ・トランシーバー
- ・レーザーポインター
- ・OHP
- ・テープレコーダー
- ・卓上灯
- ・PCプロジェクター

なお、故障や破損した場合はその旨、必ずカウンターのスタッフにお知らせ下さい。そのままにしておくと次の利用者が使えなくなってしまうます。また、ビデオテープの複製・ダビング（教育・研究のための個人利用に限ったセルフサービス）も行っていますので2Fメインカウンターに申し込んで下さい。

## 8 その他の特徴的なサービス

本学独自の所蔵資料の充実と資料閲覧の利便性の向上を目的として、下記資料の電子化を推進しています。これらは図書館ホームページや館内の検索端末から閲覧することができます。

- ・江戸期・明治期の農書を主体とする貴重書の電子化
- ・本学オリジナル資料「農大新聞」および「明治・大正・昭和初期の卒業論文」の電子化

また、図書館には「大学史料室」があり、創立者・榎本武揚、初代学長・横井時敬の関係資料を中心に、本学の歴史に関する資料を収集・保管しています。

### 図書館からのメッセージ

今、若者の「読書離れ、活字離れ」＝「日本語力の低下」が指摘されています。本を読むことには、教養や娯楽の側面ばかりではなく、自ずと表現力や文章力が身についてくるという大きな付加価値の側面があります。

今まであまり本を読まなかった人は、大学入学を機に、読書の習慣を身につけてみてはいかがでしょうか。きっと皆さんの人間の幅も広がるはずです。

図書館はそんな皆さんの取り組みにもできる限り協力したいと思っています。「希望図書」（図書館で購入してほしい本のリクエスト）の申込み以外にも何か気づいた点や要望・提案等がありましたら、是非気軽にカウンタースタッフに相談してみてください。

## 厚木学術情報センター

厚木学術情報センターは、農学部厚木キャンパスの図書館としての機能と、学内LAN等情報基盤設備の管理・運営部署としての機能の両方を併せ持っています。当初世田谷キャンパス図書館本館の分室として1998年4月に設置されましたが、2004年4月から「厚木学術情報センター」としてスタートしました。

場所は本部棟の3階、明るい閲覧室からは眼下に広がる厚木市街を見渡すことができます。

当センターでは、多様化・高度化していく農学・畜産・バイオセラピーの専門分野を学ぶための最新の図書資料や情報を中心に収集しています。3キャンパスの図書館間はオンラインで結ばれ、相互貸借ができるようになっています。2001年6月からは厚木市と相互利用協定を結び、市立図書館の蔵書65万冊の貸出も受けられることになりました。DVD・ビデオ教材の視聴も可能です。また、新しい試みとして、学生による選書なども実施しています。

これからも、利用者の声を反映した図書館づくりを継続していきますので、利用者みなさんもカウンターの係りに気軽に声をかけてみてください。

## 図書館利用について

### ■ 利用案内

#### 開館時間（平常授業期間中）

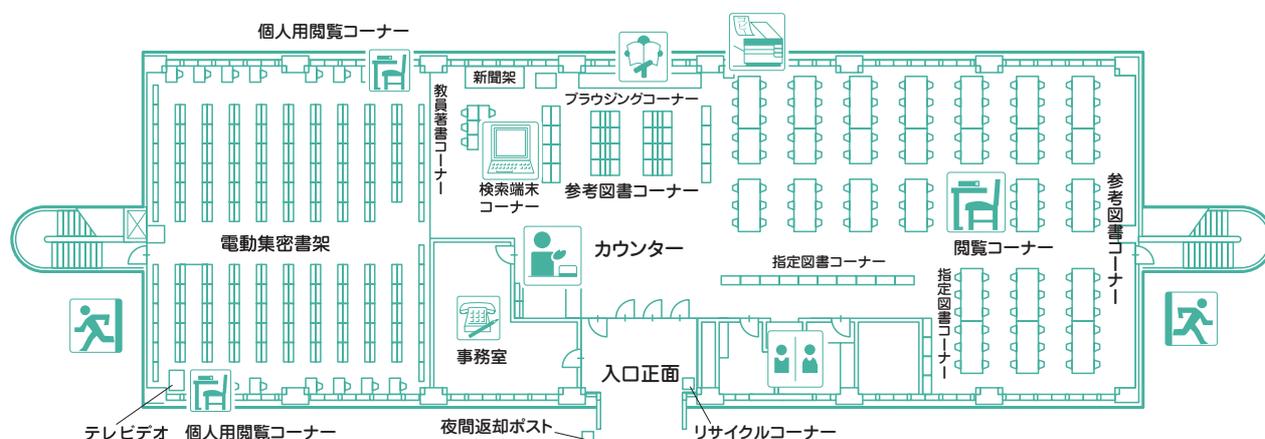
月曜—金曜日 9:00~18:00

#### 休館日

- 1 土曜・日曜日及び国民の祝日
- 2 大学が定めた一斉休暇
- 3 法人記念日（3月6日）
- 4 大学創立記念日（5月18日）
- 5 その他臨時に休館が必要な場合

開館時間の変更と休館日については掲示、ホームページでお知らせします。

### ■ 厚木学術情報センターの資料はどのような配置？



### ■ どんな方法で利用できるの？

○図書と雑誌はすべて、利用者みなさんが自由に手にとって読むことのできる「開架（電動集密書架）」形式です。

利用した後は書架の元のところへ戻し、持ち帰って読みたい場合はカウンターで貸出手続きをして下さい。その際、学生証が必要です。なお、返却は期限日までにカウンターへ戻して下さい。閉館時には夜間返却ポストへ。また「検索端末コーナー」で見つけた世田谷キャンパス図書館の蔵書や文献の複写を取り寄せたり、世田谷学術情報センターに直接行って借りた図書を厚木学術情報センターで返却することも可能になっています。

○学術論文・記事や図書などを調べるための目録や索引誌・抄録誌などの二次文献検索は、2000年4月よりサービスを開始しています。

■ その他のサービスについて

○学外文献複写サービス…他大学図書館・研究機関の資料室などから、雑誌記事や図書の部分複写を取り寄せる(複写代・郵送代などは利用者負担)。

○学外図書の取り寄せ……館内閲覧。

○紹介状の発行……他大学図書館などへの利用依頼と紹介状の発行。

○所蔵館調査……国立情報学研究所とのオンラインによる所蔵館調査。

■ ラベルでわかる本の種類

<p>オレンジ又は紫      オレンジ</p>  	<p>参考図書 (事典類)</p> <p>一般・学術図書</p>	<p>図書館内での閲覧のみ</p>
<p>グレー</p> 	<p>指定図書 (先生が授業のサブテキストとして指定したもの)</p>	<p>合計4冊2週間の貸出 (試験期間に変更あり)</p>
<p>赤</p> 	<p>上記のうち禁帯出ラベルの貼ってある本はすべて図書館内での閲覧のみ</p>	

■ ルールとマナーを守ってお互いに心地よい図書館環境を作りましょう

○図書資料を大切に取り扱い、返却期限日を守りましょう。

○館内では静粛に。携帯電話の通話禁止。館内ではマナーモードに。飲食と喫煙の禁止(飲食物は机上に置かない)。

情報システム (コンピュータ) 利用について

■ 利用者ID, パスワードについてはコンピュータセンターのホームページを参照してください。

パスワードの再配付は厚木学術情報センター (本部棟3階カウンター) で受付けています。

■ パソコンを使いたいとき

コンピュータ自習室

利用方法は世田谷キャンパスと同様です。パソコン50台, プリンター4台設置。

場 所 本部棟 2階

開室時間 8:00~19:50 (ただし, 臨時的に閉室または時間の変更あり)

自習室入口の表示を確認してください。

また, 臨時的にコンピュータ演習室を自習用に開放することがあります。

詳細は学術情報センターからのお知らせと演習室入口の表示を確認してください。

場 所 第2講義棟 2階 2201コンピュータ演習室

■ 無線LANで持ち込みパソコンを使いたいとき

現在使える場所は, ①講義棟M2ホワイエ ②第2講義棟1F学生ラウンジです。

# 「食と農」の博物館・バイオリウム

## 「食と農」の博物館

『東京農業大学「食と農」の博物館』は、東京農業大学110周年記念事業の一環として2004（平成16）年に開館しました。100年を超える本学の研究実績や教育実績を、広く社会に発信する情報基地としての役割を担い、文字通り「食」と「農」に関わる様々なコンセプトによる展示や講演会、講座、体験学習などを展開しています。この活動によって、博物館が建つ地域の方々のみならず、大げさでなくワールド・ワイドに受け入れられ今日に至っています。本学学生の皆さんや教職員、また卒業生の方々にとっては、改めて「東京農業大学」に対する理解を深める場となっているとともに、食と農に関わることの面白さや大切さを再確認し、母校に対する誇りを呼び覚まされていることでしょう。また、博物館相当施設に指定されており、本学の学芸員課程履修者には博物館実習の場として活用され、毎年多くの学生が博物館の実際を体験し、学んでいます。

博物館は世田谷キャンパス内ではなく、世田谷通りを挟んで馬事公苑の正門近くに位置しており、世田谷百景にも選ばれた「ケヤキ広場」に面し、那須高原産の芦野石とガラスを調和させたモダンな4階建ての建物は、世界的建築家・隈研吾氏によるものです。

1階は、創設者である榎本武揚や初代学長横井時敬ゆかりの資料や写真によって大学の歴史を学び、3キャンパス（世田谷・厚木・オホーツク）や大学関連の諸機関を紹介する映像コーナーでは本学の今を知ることができます。企画展示室では本学の各学科から提案された企画展示が年間を通して行われ、学外からも高い評価を得ています。また、屋久杉・秋田杉など大きな材鑑標本やクリオネの生体、進化生物学研究所の収藏品などの展示も観ることができます。さらに、農大出版会の本や農大グッズの販売、軽食・喫茶のできるカフェ・プチラディッシュもあり憩いの場を提供しています。

2階常設展示では、酒造関連用具や様々な素材からなる日本の酒器約230点を観ることができます。本学卒業生の蔵元の地酒280本も紹介しています。また、天然記念物の指定を受けている日本鶏17品種を中心に41品種119体の鶏の標本コレクションを展示しています。現在、醸造科学科、短大醸造学科の合同による「醸造のふしぎ—微生物が醸す世界—」展を開催中です。

常時の展示は行っていませんが、当博物館が誇る多数の貴重な古農具のコレクションは、産業考古学会の「日本の産業遺産300選」にも選ばれています。

3階・4階には(財)進化生物学研究所がはいる、研究所が運営する熱帯動植物園のバイオリウムとともにまさに食と農に関する様々な「知」を提供する施設となっています。

## 平成25(2013)年度 東京農業大学「食と農」の博物館「企画展示」及び「特別展示」等の日程(予定)

		H25/4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H26/1月	2月	3月
1階	ロビー	①				⑤			⑥	⑦	⑧		
	展示室A	【常設展示】(財)進化生物学研究所コレクション/古代魚の生体展示 【常設展示】東京農業大学の紹介コーナー/建学以来の歴史、榎本・横井関連資料の展示、クリオネ生体展示、材鑑標本、気象衛星からの映像展示 他											
		【企画展示】(テーマ) 「緑化作品にみる「農大造園家」90年の軌跡、そして明日へ」～明治神宮の森から首都高速大橋ジャンクション「日里天空の庭」まで～ (主催) 地域環境科学部造園科学科 (期間) H25.3.30(土)～9.16(月)	撤収と準備		【企画展示】 (テーマ) (仮題)『樹木の形の不思議』展 (主催) 短期大学部環境緑地学科 (共催) NPO法人樹木生態研究会 (期間) H25.10.1(火)～H26.3.16(日)								
展示室B	【企画展示】 (テーマ) 「日本の森林復旧展 -日本の山はハゲ山だった-」 (主催) 地域環境科学部森林総合科学科 (期間) H25.3.30(土)～7.15(月)			②		③							撤収と準備
2階	【常設・企画展示】(テーマ) 『醸造の不思議』-微生物が醸す世界- (主催) 応用生物科学部醸造科学科、短期大学部醸造学科 (期間) H24.3.30(金)～H26.3.23(日)												
	【常設展示】東京農業大学卒業生の蔵元紹介 -酒瓶のオブジェ-												
	【常設展示】鶏の剥製標本コレクション (付属展示/ウイングレス無翼鶏の剥製・骨格標本、タマゴを比べてみよう)												
	【常設展示】色々な酒器のコレクション (住江金之コレクション)												

【小企画展 及び 施設貸出しによるイベント等/日程は変更される場合があります】

- ① 「サクラソウ」展 ② 細川健太郎写真展 乾きに生きる植物たち -南部アフリカ・世界でもっとも豊かな沙漠-  
③ 「衛星からアジアの東岸域のモニタリング」展 ④ せたがやふるさと区民祭り ⑤ 東京農業大学「食と農」の博物館の収穫祭  
⑥ 信州木祖村商工会物産展 ⑦ 「すんきの里」 信州木曾町の観光と物産展

## バイオリウム

「食と農」の博物館に隣接して、2005年8月に展示温室バイオリウム（BIORIUM）が博物館と一体の施設としてオープンしました。BIORIUMはBIO＝「生きもの」とRIUM＝「空間」からなる造語です。マダガスカルを中心に、世界の熱帯域から調査・研究のために集められた（財）進化生物学研究所の貴重な動植物を見ることができます。入館無料です。

### バイオリウム・ツアー（有料）

進化生物学研究所の研究員の案内で、バイオリウム内を30分ほどかけて見学するツアーです。

（開催日） 火曜日・木曜日 時間は両日共に ①14：00～ ②15：00～

（料 金） 大人 500円／団体（5～15名）の場合 400円（喫茶コーナーのドリンク付）  
子供 250円（ドリンクなし）

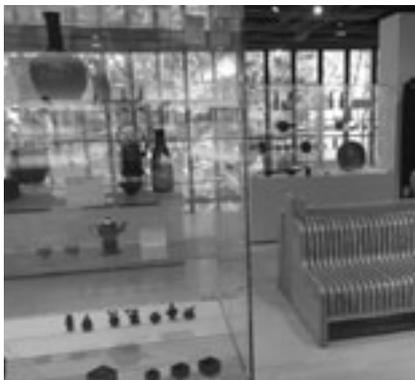
※団体の場合は、前日までにお申込み下さい。個人の場合は当日でもお受けいたします。

ただし上記以外の日時でも、事前にご相談いただければお受けできることがあります。

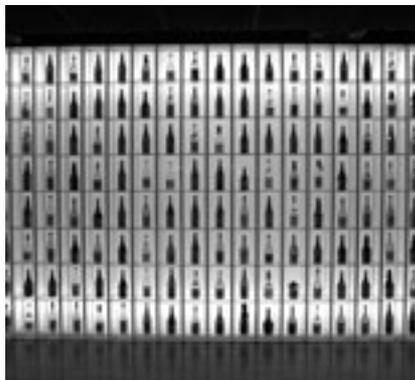
※お申込み・ご相談は、進化生物学研究所（電話03-3420-7449）に直接お願いいたします。

※休館日は博物館に準じます。

### 「食と農」の博物館



2階・酒器の展示コーナー



卒業生の蔵元紹介コーナー



植物と馬を楽しむ「馬事公苑ガイドウォーク」

### バイオリウム



ワオレムール



キンシャチ（メキシコ原産のサボテン）



ケヅメリクガメ

#### 「食と農」の博物館・バイオリウム

（住 所） 〒158-0098 東京都世田谷区上用賀 2-4-28

（休 館 日） 毎週の月曜日、毎月最終の火曜日・大学の定めた休業日

※月曜日が法定休日の場合は開館日となり、翌日の火曜日が休館日になります。

※臨時休館日もあります。詳しくは当博物館ホームページで確認して下さい。

（開館時間） 4月～11月／10：00～17：00、12月～3月／10：00～16：30

（URL） <http://www.nodai.ac.jp/syokutonou/info/info.html>

<http://www.nodai.ac.jp/rieb/biorium/index.html>

# コンピュータセンター

コンピュータセンターは、コンピュータ演習室・自習室、ITスタンド（情報コンセント）を始めとした最新のコンピュータ・ネットワークシステムを設置し、学生の情報処理教育および研究者への支援、ならびに大学のネットワークを利用するために必要な「利用者ID」の配付を行っています。

場 所 世田谷キャンパス16号館3階

窓口時間 月曜日～金曜日（祝日・大学休業日を除く） 8：30～17：00

コンピュータセンターHPアクセス方法：東京農業大学HP「学内施設」→コンピュータセンター

## パソコンを使いたいとき

### 1 コンピュータ自習室

学生ポータルの利用、授業の課題作成等でパソコンが必要なとき、自由にパソコンが利用できる場所です。印刷用紙やUSBメモリなど、個人で使用するものは各自で用意してください。

#### 《世田谷キャンパス》

場 所 16号館2階（パソコン80台、スキャナ4台、プリンタ8台）

開室時間 月曜日～金曜日（祝日・大学休業日を除く）9：00～18：00（季節により時間延長、短縮あり）

開室日時の詳細は自習室入口のカレンダーか、  
コンピュータセンターHPを確認してください。

#### 《厚木キャンパス》

厚木学術情報センター（p.78, 79）をご覧ください。



### 2 ITスタンド（世田谷キャンパス）

家から持ってきたノートパソコンをつないで、インターネットが使用できます。建物の入口が開いていればいつでも使えます。接続方法等は、設置場所にあるマニュアルをご覧ください。

無線LAN：1号館（全域）、学生サービスセンター（1階デッキ）、図書館（13号館1～3階）、常磐松学生会館、自習室（16号館2階）

情報コンセント：1号館（全域）、18号館（1, 2階）、常磐松学生会館（1階）

## ネットワークを利用するにあたって

学内のコンピュータシステムおよびネットワーク施設は、入学時に配付される農大ネットワーク利用ガイドもしくはコンピュータセンターのHPに掲載されているネットワーク利用ガイドラインをよく読み、ルールを守って利用してください。

## 各種問い合わせ

ネットワークサービスおよび施設の利用方法はコンピュータセンターHPをご覧ください。

- ・利用者IDについて
- ・パスワード／紛失・再発行について
- ・Webメール（Activemail）の使い方について
- ・演習室、自習室、ITスタンドの利用について

不明な点がある場合は、世田谷キャンパスの学生はコンピュータセンター、厚木キャンパスの学生は厚木学術情報センターに問い合わせてください。

## Microsoft Office Specialistについて

コンピュータセンターでは、学生の就職支援およびWord, Excel, PowerPointなどのスキルアップの一環として、IT資格の1つであるMicrosoft Office Specialistの対策講座を開講しています。

就職活動だけでなく卒業論文にも活かすことができますので、興味のある人は是非受講してください。

# 国際教育プログラム・外国人留学生支援

国際協力センターは世界20カ国・地域に点在する姉妹校や関連機関との間で語学や農業に関する研修や異文化理解、異国民間交流を通じて国際社会に貢献できる専門知識や技術のみならず幅広い知識をもつ人材を育成するための各種の国際教育プログラムを展開させ、多くの学生へ参加を推進しています。

一方、外国人留学生を受入れ、有意義な学生生活を送れるよう様々な支援を行っています。

## 国際教育プログラム

### 姉妹校一覧

大学名		協定締結年月日
アメリカ合衆国	ミシガン州立大学 Michigan States University	1966年（昭和41年）1月12日
タイ王国	カセサート大学 Kasetsart University	1988年（昭和63年）6月9日
カナダ国	ブリティッシュコロンビア大学 The University of British Columbia	1988年（昭和63年）7月20日
中華人民共和国	中国農業大学 China Agricultural University	1988年（昭和63年）8月22日
台湾	国立中興大学 National Chung Hsing University	1992年（平成4年）6月11日
インドネシア共和国	ボゴール農科大学 Bogor Agricultural University	1996年（平成8年）8月2日
ペルー共和国	ラモリーナ国立農業大学 La Molina National Agrarian University	1996年（平成8年）8月2日
モンゴル国	モンゴル国立農業大学 Mongolian State University of Agriculture	1996年（平成8年）8月12日
フィリピン共和国	フィリピン大学ロスバニオス校 University of the Philippines Los Banos	1996年（平成8年）9月11日
大韓民国	国立慶北大学 Kyungpook National University	1998年（平成10年）4月28日
イスラエル国	ヘブライ大学 The Hebrew University of Jerusalem	1998年（平成10年）9月28日
ベトナム社会主義共和国	ハノイ農業大学 Hanoi University of Agriculture	1998年（平成10年）11月19日
ブラジル連邦共和国	サンパウロ大学 University of Sao Paulo	2001年（平成13年）2月22日
メキシコ合衆国	チャピンゴ自治大学 Chapingo Autonomas University	2001年（平成13年）7月16日
ウクライナ共和国	ウクライナ国立生命環境科学大学 National University of Life and Environmental Sciences of Ukraine	2003年（平成15年）9月19日
マレーシア国	マレーシアプトラ大学 Putra University, Malaysia	2004年（平成16年）3月16日
フランス共和国	フェイシア Fédération des Ecoles Supérieure d'Ingénieurs en Agriculture	2004年（平成16年）6月16日
オランダ王国	ワーヘニンゲン大学 Wageningen University	2004年（平成16年）6月23日
フランス共和国	ボーベ・ラサル・ポリテクニク学院 Institut Polytechnique LaSalle Beauvais	2007年（平成19年）8月27日
タンザニア連合共和国	ソコイネ農業大学 Sokoine University of Agriculture	2009年（平成21年）4月6日
カンボジア王国	王立農業大学 Royal University of Agriculture	2011年（平成23年）4月2日

現在、本学の姉妹校は世界20カ国・地域に広がり年間100名以上の本学学生を各自の興味や目的に合わせて各姉妹校や関連機関に派遣しています。



## 1 インターナショナル・スタディーズ（一）（二）

本学では国際感覚を養い世界の人々の一員として活躍できる人材を養成する目的でインターナショナル・スタディーズ（一）（二）を全学共通科目として設置しています。インターナショナル・スタディーズ（一）は講義を行い、さらに演習として本学で実施している多種多様な国際協力活動の事例を通じて、姉妹校のある国々を中心に、それらの国や地域の問題点と可能性を理解し、自国と世界の国々との協調のあり方を探ります。また、インターナショナル・スタディーズ（二）では、本学の海外姉妹校への短期派遣プログラムに参加することにより世界人として不可欠な多様な人々・社会・政治経済・文化に関する理解を深化させます。

## 2 短期派遣プログラム

短期派遣プログラムは、原則として夏期休暇もしくは春期休暇の2週間に実施します。海外姉妹校の施設に寄宿し姉妹校の学生との交流を行い、農村や農業関連企業などを視察し派遣国の食農環境を学びます。2013年度はミシガン州立大学、カセサート大学、中国農業大学、国立中興大学、チャピング自治大学、ソコイネ農業大学、ボゴール農科大学等で実施を予定しています。この他にブリティッシュコロンビア大学ではホームステイをしながら語学を学ぶプログラムを実施しています。こちらは夏期休暇の3週間と春期休暇の1カ月間です。短期派遣プログラムは今後、他の姉妹校においても実施を検討しています。この短期派遣プログラムに参加し、所定の手続きを行った場合はインターナショナル・スタディーズ（二）の単位を修得することができます。各プログラムの詳細については、国際協力センターもしくは学生サービス課にお問い合わせ下さい。

## 3 長期留学プログラム（外国人留学生は応募できません）

このプログラムは、本学成績優秀者に対し奨学金として往復の航空運賃相当額と留学期間中の本学授業料を免除し、姉妹校に6ヵ月間～1年間の留学の機会を与えるものです。派遣学生数は各姉妹校1～4名です。

募集は毎年10月中旬（派遣は翌年8月）に、学部2・3年次生および大学院生（派遣時は学部3・4年次生および大学院生）を対象に行います。選考は学内成績、TOEFLのスコア、作文、心理テスト、語学力、面接を総合的に評価し留学生を決定します。本学からの派遣学生は派遣大学において特別留学生として籍を置き、正規の授業を受講し単位を修得することができます。姉妹大学で修得した単位は帰国後所定の手続きにより学部生は他学科・他学部聴講修得単位合計30単位を超えない範囲で、大学院生は10単位を超えない範囲で卒業及び修了に必要な単位に加えることができます。

- 応募にはTOEFLのスコアが必要です。事前に必ず受験しておいて下さい。申込みから結果を得るまで1ヵ月以上要するので余裕をもって受験して下さい。
- 派遣期間：8月上旬～翌年7月下旬
- 応募資格：学部2・3年次生、大学院生  
(受入大学により、語学力、受入学年等が異なりますので、説明会等で確認して下さい。)
- 応募人数：各姉妹校1～4名
- 費用：留学先により異なる（留学期間中の本学授業料は学生諸経費を除き免除）

## 4 アメリカ農業実習

このプログラムは、米国法人International Farmers Aid Association (IFAA) が現地における引受機関となり、本学学生を全米各地の農場に配属します。実習生は、より実践的にアメリカの農業を体験する事ができます。プログラムには配属農場での実習のほか、約1ヵ月間の英語研修、通算40日間のセミナー、研修旅行等が含まれています。

実習期間は12ヵ月間（毎年3月出発、翌年3月帰国）で、学部3、4年次生および短期大学部2年次生（編入が決定した者は除く）を対象としています。派遣期間中は授業料が減免され学籍上は休学の扱いとなります。

## 5 世界学生サミットと世界学生フォーラム

世界学生サミットは2001年11月に「新世紀の食と農と環境を考える世界学生サミット」をテーマとして本学学生（外国人留学生を含む）と姉妹校学生が世田谷キャンパスに参集して2日間にわたり、人類が直面する深刻な諸問題に関する意見・情報交換および彼ら自身の役割について討論する国際会議として発足しました。翌年2002年には世界をつなぐ学生間のネットワーク化を進める宣言の下、本学と姉妹校学生で構成された組織である世界学生フォーラム（ISF）を立ち上げ、日頃より各国の食・農・環境について情報交換・討議をしながら次回の世界学生サミットに向けての活発な活動を行っています。第13回を迎える世界学生サミットは2013年10月初旬に“Students Taking Action in Extending Knowledge and Innovations to Communities Facing Issues in the Field of Food, Environment and Agriculture”をサブ・テーマとして東京農業大学百周年記念講堂（厚木・オホーツクキャンパスでも同時中継）で開催する予定です。

## 6 新国際教育プログラム

2008年4月にカリキュラム改正を行い、新国際教育プログラム（CIEP）<sup>シエップ</sup>をスタートしました。このプログラムは講義・フィールドスタディ・ワークショップにより編成されており、2週間のプログラムを修了すると4単位修得することができます。世界学生サミットは、この「新国際教育プログラム（CIEP）」の一環として位置づけられ、世界学生サミットの座長と発表者には2単位が与えられます。

## 7 日本学生支援機構で募集する留学

文部科学省の外郭団体である（独）日本学生支援機構が行なう外国政府等奨学金留学生の募集があります。募集については農大の学生ポータルや国際協力センター、各学生サービス課の掲示で確認して下さい。

## 外国人留学生支援

### I 学費等の納入について

在留資格が「留学」である学生は学費の納入を年間4分割で請求しています。第1回目から第4回目の各回の納入期限日までに必ず学費等を納入するようにして下さい。やむを得ず期限日までに払えない場合は国際協力センターまたは学生サービス課へ連絡して下さい。

学費の滞納がありますと、奨学金の申請や支給に不都合がでるだけでなく学籍が取り消されることもあります。

### II 住民票及び在留カード（写）の提出について

出入国管理及び難民認定法第19条の17に基づき、外国人学生の在留資格を管理するため、毎年4月上旬に住民票と在留カード両面のコピーを提出してもらいます。

### III 奨学金

奨学金の募集の案内は随時、学生ポータルサイトでお知らせしています。日本学生支援機構の学習奨励費及び東京農業大学外国人留学生奨学金の募集は毎年年度初めの4月にあります。

奨学金を応募するためには在留資格が“留学”であることが必須です。奨学金を受けられるのは留学生数の14%足らずと非常に難しい状況となっています。

### IV 国民健康保険

区（市）役所の国民健康保険課で加入手続きができます。国民健康保険の加入により治療費は3割負担で済むこととなります。必ず加入して下さい。



医療機関を利用するにはこの保険証を提示すれば医療費の7割が免除されます。

なお、健康診断や美容整形、歯科矯正、交通事故等については保険の対象外になりますので注意して下さい。

## V 留学生住宅総合保障制度

留学生が賃貸住宅に入居するにあたり保証人を探す困難さと保証人の負担を軽減し留学生の賃貸住宅への円滑な入居を促進することを目的とした制度です。この制度を利用したい留学生は国際協力センターへ相談下さい。

## VI 外国人留学生向け年間行事

### 新入生留学生ガイダンス

入学式当日に日本での有意義な学生生活を送ることができるよう新入生向けのガイダンスを開催しています。

### 留学生懇談会

新入留学生の紹介や学生間及び教職員との交流を目的に年一回春に世田谷キャンパスで開催されています。留学生が自国の料理を作り、歌や踊りが披露される大変にぎやかな会です。

### 見学旅行

日本の文化、歴史、農業などを理解し異文化体験を目的として年一回冬季に企画されます。

今までは栃木にある足利学校・神奈川県小田原市のかまぼこ工場、小田原城にスクールバスで行きました。

### 卒業する留学生を祝う会

毎年3月上旬に卒業年次生の留学生をお祝いする会です。

## VII 在留資格等に関すること

2012年7月9日より新しい在留管理制度の導入により従来の外国人登録制度は廃止されました。詳しくは入国管理局のホームページを確認下さい。

[http://www.immi-moj.go.jp/newimmiact\\_1/](http://www.immi-moj.go.jp/newimmiact_1/)

外国人登録証明書については在留期間の満了日まで在留カードに見なされますので在留カードが交付されるまでは引き続き所持して下さい。

在留カードは中長期在留者に対して上陸許可や在留資格変更許可、在留期間の更新許可などの在留に係る許可に伴って交付されるものです。

新たに来日して出入国港において在留カードが交付された方は住居地を定めてから14日以内に在留カードを持参の上、住居地の地区町村の窓口でその住居地を法務大臣に届出下さい。また引っ越しをした場合も変更後の住居地に移転した日から14日以内に在留カードを持参のうえ移転地先の地区町村の窓口でその住居地を法務大臣に届けて下さい。

所属機関の変更（在籍校 例えば日本語学校から東京農業大学へ変更）が生じた場合は14日以内に地方入国管理官署へ出頭または東京入国管理局への郵送により法務大臣に届けて下さい。

### 在留期間の更新

在留期間を更新するためには在留期間の満了する3か月前から当日までに入国管理局へ出頭して期間更新の手続きをしなければならない。手続きに必要なものは

在留期間更新許可申請書（大学の押印が必要）在学証明書、成績証明書、旅券、在留カード、経費支弁に関する書類、手数料等です。

### 再入国許可

有効な旅券及び在留カードを所持する外国人が出国する際、出国後1年以内に本邦での活動を継続するために再入国する場合は原則として再入国許可を受ける必要がなくなります。（この制度を「みなし再入国許可」といいます。）

出国する際には必ず在留カードを提示しなければなりません。

みなし再入国許可により出国した方はその有効期間を海外で延長することはできません。出国後1年以内に再入

国しないと在留資格が失われることとなりますので注意して下さい。

### 資格外活動

留学中の学費や生活費を補うために学業の妨げにならない範囲でアルバイトをするには入国管理局へ出頭し資格外活許可の申請をしなければなりません。

アルバイトは週28時間以内（夏期，冬期，春期休暇中は1日8時間以内）と制限されています。制限時間を超えてアルバイトをすると本国への送還などの処分を受けますのでルールに従ってアルバイトするよう注意して下さい。また風俗営業や風俗関連営業が行われる場所でのアルバイトは禁じられています。スナック，ナイトクラブ，客の接待をして飲食させるバー，飲食店などでは皿洗いや清掃の仕事をする 것도禁止されていますので十分に気をつけて下さい。

資格外活動許可申請の際に必要なものはパスポート，在留カード，学制証，資格外活動許可申請書です。

以下は各キャンパスに在籍の外国人留學生が出頭するのに便利な入国管理局の一覧です。

管理局名	住 所	アクセス
東京入国管理局	港区港南5-5-30 TEL03-5796-7111	JR品川駅から都バスで東京入国管理局前
東京入国管理局 川崎出張所	川崎市麻生区上麻生1-3-14川崎西合同庁舎 TEL044-965-0012	小田急線 新百合ヶ丘駅 南口 徒歩5分
札幌入国管理局 釧路港出張所	釧路市南浜町5-9 釧路港湾合同庁舎内 TEL0154-22-2430	釧路駅から徒歩16分

# 諸研究施設

## 総合研究所

総合研究所は、本学の3キャンパスにわたる研究の活性化や研究成果の社会への還元などを目的に、大学の研究活動全般の発信窓口として設置された機関です。本学の戦略的研究を企画し推進するとともに、各学部間の連携が必要な研究や6つの学部研究所が行うプロジェクト研究の支援のほか、国内外の研究機関や産業界との連携における本学の研究センター的な役割を担っています。

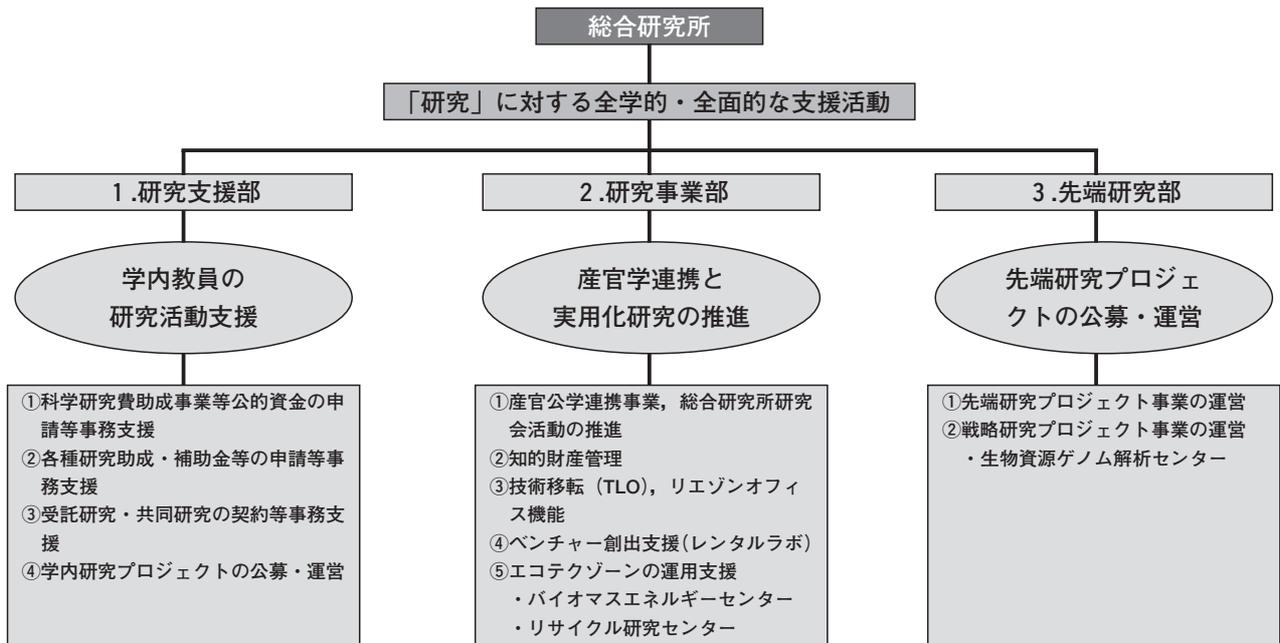
主な活動は、本学が重点課題として掲げる「食料」、「環境」、「健康」、「バイオマスエネルギー」の各分野において長期的な研究戦略を立案するとともに、これらを実現するためのプロジェクト研究の企画と実施、社会的ニーズのある研究テーマの発掘、研究成果をもとにした知的財産権の確立などを目指しています。

また、産官学を柱とした共同研究の支援や科学研究費をはじめとする各種研究費獲得のための情報提供及び事務支援、国内産業界と連携した総合研究所研究会の運営、研究成果を発信するための学術雑誌の刊行や特別講演会・フォーラムの開催など、本学の研究力向上のための総合的な活動を行っています。

なお、総合研究所が開催する特別講演会やフォーラムは、学生も無料で参加することができますので、奮ってご参加ください。

総合研究所の事務部は世田谷キャンパス15号館2階にあります。

- |                    |                     |
|--------------------|---------------------|
| 1. 長期的な研究戦略の企画推進   | 4. 産官学との共同研究        |
| 2. 戦略的なプロジェクト研究の実施 | 5. 民間への技術移転の支援      |
| 3. 国内外研究機関との研究交流   | 6. 学術雑誌の刊行（研究成果報告書） |



総合研究所事務部



リサイクル研究センター  
(生ごみ肥料化プラント)



生物資源ゲノム解析センター  
(次世代型シーケンサー)

## 農 場

大学には伊勢原農場・富士農場・網走寒冷地農場・宮古亜熱帯農場の4農場が設置されていますが、伊勢原農場・富士農場は農学部、網走寒冷地農場は生物産業学部、宮古亜熱帯農場は国際食料情報学部それぞれ所属しています。

農場を利用して農業実習や演習・実験を実施している学科は、農学部全学科、地域環境科学部造園科学科および生産環境工学科、国際食料情報学部国際農業開発学科、生物産業学部全学科、短期大学部の生物生産技術学科および環境緑地学科であり、教職課程の「栽培」実習などでの利用もあります。実習は、各学科の教育的効果を配慮しながら学科教員や農場教職員等が指導にあたっています。

農 場	所 属 す る 学 部
伊 勢 原 農 場 富 士 農 場	農 学 部
宮 古 亜 熱 帯 農 場	国 際 食 料 情 報 学 部
網 走 寒 冷 地 農 場	生 物 産 業 学 部

## 伊勢原農場

伊勢原農場は、棚沢水田を含む農場からなっています。伊勢原農場は、小田急線の北側、丹沢大山山系南東麓の神奈川県伊勢原市三ノ宮に位置し、南に相模湾を臨む南向き緩斜面にあります。気候は比較的温暖で、柑橘栽培の北限に位置します。農場の用地は約3haで、ほぼ平坦な地形にあることから、集約された農場として効率的な運用が見込める農場であり、主に園芸（果樹・野菜・花卉・造園）に特科した実践実習教育の場として整備が行われています。平成22年度に農場整備に着手し、平成23年度は、露地野菜・造園および農業機械の実習が可能になり、現在これらの部門では実践実習教育が実施されています。また、平成23年春に果樹棚が完成し、植栽計画に沿った土壌改良が実施され、平成24年春に果樹苗を定植しました。さらに平成24年度は、花卉および野菜のガラス温室や造園の雨除けハウスが完成し、冬季から翌春に向け花卉および野菜の施設移転を実施し、厚木農場から伊勢原農場への移転が終了します。

棚沢水田は、伊勢原農場から北方約15kmに位置した中津川水系の厚木市棚沢地区に面積2.9haを有し、現在水稲を専門に行っていますが、平成24年度は農機具舎・加工室が完成し、工芸作物用圃場の整備を行いました。平成25年度からは工芸作物と集結して実習教育と研究をする計画で進んでいます。

工芸作物は移転準備が整うまでは、厚木キャンパス内で実習教育と研究を継続して実施します。





野菜管理実習



ブドウ袋かけ実習



茶の収穫



シクラメン調整実習



ミカン収穫実習



脱穀実習



大茎木の移動実習



マルチ敷設実習

## 富士農場

昭和16年開場の富士農場は、本学の農場・演習林の中でも最も歴史のある農場で平成13年に60周年を迎えました。開場時は専門部農村経済学科の修練農場として発足しました。当時は太平洋戦争開戦直前であり、日本海軍から依頼されたイチハツやグラジオラスなどの試験栽培が行われるなど多くの作物が持ち込まれましたが、毛無山の影響をうける日照不足と多雨によってどれも生産に結びつけることが出来ませんでした。昭和40年代に入って地の利をいかした畜産への取り組みが本格的に始まり、昭和50年代初頭にはこれが軌道に乗りました。また平成元年に那須牧場、平成2年に厚木農場養鶏・養豚部門を統合し今日の農場を形成するに至っています。

本農場は標高820mの朝霧高原に位置し、総面積33haを有し、東には日本の象徴である雄大な富士山を望み、西には標高1,946mの毛無山を仰ぎ見る絶景の地にあります。この毛無山周辺には、絶滅危惧種でユリ科の植物スルガジヨウロウホトトギスやフジミズラモグラをはじめとする小型哺乳動物2目3科12種、天然記念物のハコネサンショウウオなど、植生においても棲息においても貴重な自然が残されています。

農場周辺は西富士開拓として有名な酪農地帯ですが、畜産基地建設事業による養鶏・養豚団地、静岡県設置の畜産技術研究所などもあり、畜産関係の実習教育と試験研究には格好の場となっています。さらには東海自然歩道が農場近くを通るなど、アウトドア・レクリエーションや場内設置の環境フィールドなど畜産のみならず造園・造林学の学習においても有意義な教材を提供し、全農大生、教育後援会ご父母、小・中・高校生に親しまれています。





## 宮古亜熱帯農場

本農場のある沖縄県宮古島は、北緯24度から25度、東経124度から125度の間に位置し、沖縄本島と台湾のほぼ中間にあります。年平均気温は23℃、平均湿度80%と亜熱帯海洋性気候に属し、島は年間をとおして緑につつまれ、近海は色とりどりのさんご礁に囲まれています。このように豊かな自然に恵まれた宮古島は、観光地としてはもちろんのこと、全日本トライアスロン大会の開催地としてスポーツアイランドの名をはせ、また、近年では、風力発電、太陽光発電の研究施設を誘致するなど、エネトピアアイランドとしても注目されつつあります。

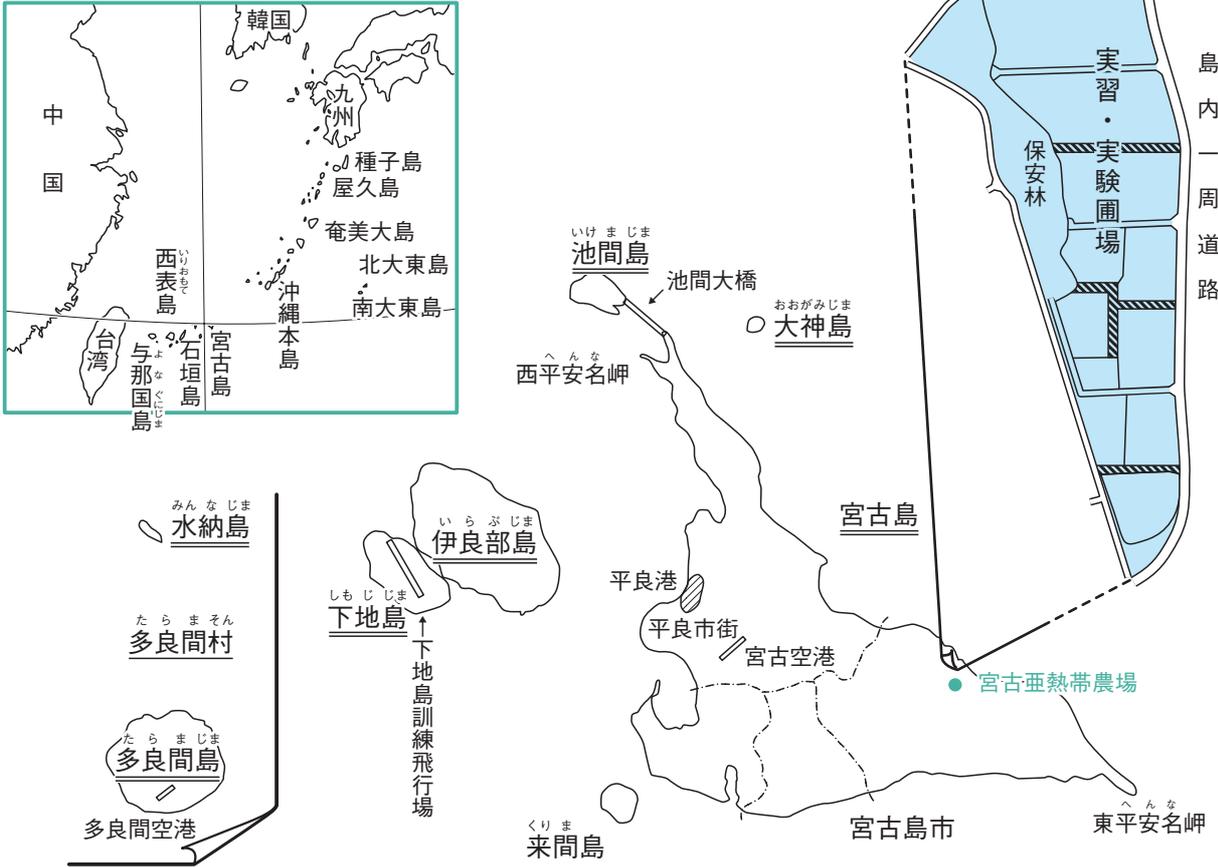
産業面では宮古島は目下開発の途上にあり、農地の基盤整備をはじめ、世界的にも珍しい地下ダムの建設、各種公共施設の整備などが急ピッチで進められています。とくに農業に関しては、地下ダムの水を利用した灌漑施設の整備とあわせ、環境保全を考慮しつつ従来のサトウキビ・モノカルチャーから作物の多様化への試行がなされており、今まさにダイナミックな変貌を遂げようとしています。

宮古亜熱帯農場はこのような環境下で、熱帯農学に基づく熱帯・亜熱帯農業の実習教育と試験研究を行うことを目的として設置されました。本農場は、宮古島の地域自治体等との協力により、地域農業の発展や農業生産環境の保全を共に考え、これらの活動を通じ地域と共に歩むことを基本姿勢のひとつとしています。農場面積は約9.5haで、現在、農場施設として管理研究棟、学生宿泊棟（72名収容）、研究者宿泊棟、農機具収納舎、大型冷蔵庫、職員住宅及び育苗ハウスが設置されています。農地はほぼ整備も終わり、一部は防風林の苗木の他、マンゴー・バナナ・サトウキビ・ヤムイモなどの熱帯果樹園・工芸作物類野菜の植栽圃場にあてられ、実習・研究圃場として利用されています。また、国際農業開発学科の学生（約180名）が地域関係諸機関および農家の協力のもとで毎年1週間の実習を行う他、教員や大学院生の研究及び学部学生の卒業論文研究およびJICAの研修の場として利用されています。

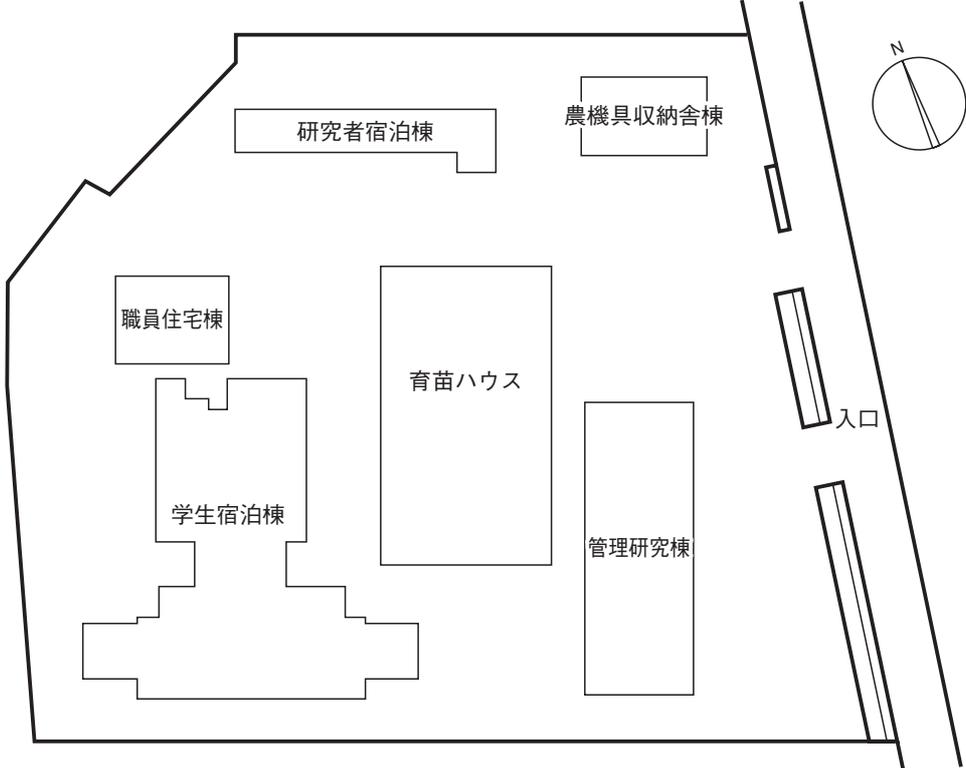
また、本農場における熱帯農業や熱帯の食糧生産環境に関する幅広い研究教育の実施は、わが国が世界から期待されている発展途上国との国際協力活動においても、とりわけ熱帯地域の農業開発協力に携わる人材育成にも大きく貢献し得るものとなっています。



### 宮古亜熱帯農場案内図



### 宮古亜熱帯農場施設配置略図



## 網走寒冷地農場

国定公園小清水原生花園「トウフツ湖」南畔にひらける、日本有数の大規模畑作農業が展開する網走市に位置する網走寒冷地農場は1982（昭和57）年、生物産業学部の開設（1989（平成元）年）に先駆け、寒冷地大規模畑作の実習と産・官・学が一体となった教育と研究を推進し、地域と共に歩む大学農場を目指して開設されました。

約21haの圃場には、北海道を代表する畑作物（秋播き小麦・ビール大麦・馬鈴薯・てん菜）の他に根菜類（ナガイモ・ゴボウ・ダイコンなど）が栽培され、当農場職員が農家資格を有し、地域営農集団組織の一員となって地域農家と共に組織的な運営を行っています。同時に、試験圃場による試験・研究が行われ、地域農業の発展にも大きく寄与しています。

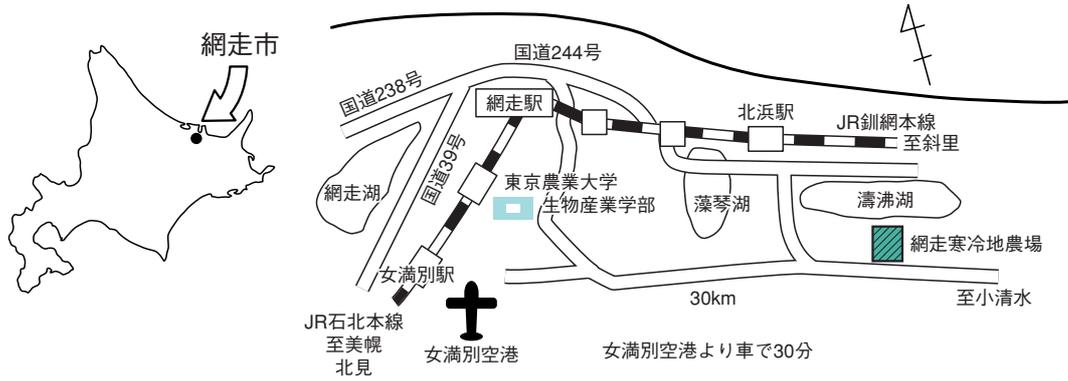
この農場はリアリティのある地域農業問題の解明を通してこれからの新しい農業の構築をめざすことを基本理念として掲げ、営農・教育・研究が三位一体となりながら、本学の「実学主義」を具現化できるユニークな大学農場です。

知床の山々や波静かなオホーツク海など豊かな自然環境に恵まれた北海道の網走市では、オホーツクブルーの空の下、日本有数の先端的な大規模機械化農業が営まれています。機械や施設は集団で所有して利用と作業は共同で行い、また、共同で生産資材を購入、生産物を販売しています。当地の畑作農業の経営はこのような営農集団方式を取り入れ、高生産農業として注目されています。



学生の実習風景（てん菜の補植作業）

## 網走寒冷地農場案内図



## 網走寒冷地農場全景写真

全面積 42.70ha

(営農部圃場 19.01ha 教育研究部圃場 2.20ha 湿生林・原野 21.49ha)



## 農学部附属施設

### ■農学研究所

農学研究所は、生物資源としての動植物及び微生物の保全と農業を通じて地球環境の保全を図り、人と生物資源との有機的な共生関係の構築について調査・研究・普及活動を行って、農学分野の進展に寄与する目的で設立されました。

研究は農学部の教員を中心に、安全で安定した食料の生産と生物との共存共栄による人の生活の質的向上のためにプロジェクト研究を推進しています。また、各種のシンポジウムや講演会等も開催して、農学研究の普及・発展に努めています。

### ■電子顕微鏡室

走査型プローブ顕微鏡（SPM）・透過型電子顕微鏡（TEM）・走査型電子顕微鏡（SEM）、さらには元素分析X線マイクロアナライザー等を用いて、生物や生物由来物質のナノ構造観察や機能解析をおこない、生物資源の多面的利用の研究や教育に活用しています。

### ■植物園

本園は農学部の主目的である生産農学と新領域である環境農学および福祉農学の教育理念に基づき設置されています。温室にはショウガ科植物などの資源植物や熱帯果樹、圃場にはホシクサ科およびイグサ科をはじめとする国内希少植物、また日本古来より親しまれてきたギボウシ、ウメ、サクラ、ツバキ、サクラソウなどの伝統園芸植物およびこれらの野生種の栽培、保護管理が行われ、教育、研究資料として提供されています。またキャンパス内には418種類の自生植物が生育しており、カタクリやニリンソウ群落が残る雑木林も保全されており、これらの環境は人の心の癒しの場としても利用されています。また本園は博物館相当施設として学内外の学芸員資格取得希望者の博物館実習の場および農業実習に利用されています。

### ■食品加工技術センター

ハム・ソーセージ等の食肉加工及び、チーズ・バター等の乳加工実習設備を整え、学生の畜産食品製造実習、卒業実験、企業との共同研究および市民を対象としたカレッジ講座などに利用されています。

### ■バイオセラピーセンター

犬舎と厩舎およびドッグランと馬場があります。センターを主にサポートするのは伴侶動物学研究室と動物介在療法学研究室です。馬と犬が常時飼育され、学生の実習教育や研究、介在活動の実践の場として利用されています。

## 応用生物科学部附属施設

### ■応用生物科学研究所

4学科に共通する分野を総合的に研究する機関。生命の科学、バイオテクノロジー、微生物、植物、動物、健康をキーワードに応用生物科学の新しい視点、可能性を追求していきます。

### ■食品加工技術センター

小工場規模の設備を整え、食品関連産業と連携し食品の製造に関する教育と研究を行っています。ジャム、ソーセージ、乳酸菌飲料、パンなどの製造実習を通じ、学生が実践力を身につける場として使われる等、東京農大のモットーである「実学」を継承した施設です。

### ■アイソトープセンター

放射性同位元素を用いて、微生物や動植物のトレーサー実験、生化学実験、組換えDNAを含む遺伝子工学的実験等、ライフサイエンスの広い分野に対応する基礎研究・応用研究を支援しています。

### ■ 菌株保存室

研究・応用利用に関わる重要な微生物株を保存・管理すると共に、有用微生物の探索、保存・利用に関する教育研究手法の開発を行っています。学内外の研究者や利用者の要望に応じて分譲し、微生物の応用に関する研究を支援しています。現在、保有している微生物は、細菌・酵母・糸状菌で、合わせて約7,000株におよびます。

### ■ 高次生命機能解析センター

国際水準に適合した実験動物の無菌（SPF）飼育施設です。遺伝子組換え個体を含む実験動物を管理し、生理、遺伝、発生、行動、栄養など生命科学分野の研究を支援します。

## 地域環境科学部付属施設

### ■ 地域環境研究所

地域環境科学部の社会的使命は、山村・農村・都市などの地域性を尊重しながら、かつこれを上流域から下流域までひとまとまりの環境として魅力と活力に満ちた地域づくりを推進することにあります。そのためには、地域環境科学部を構成する3学科間の横断的研究を推進し、環境科学の総合的な発展を図らねばなりません。研究テーマは、自然環境の保全と適正な利活用をより具体的な形で実現するため、①砂漠化地域の緑化、②エコ・テクノロジーの基礎的技術開発、③地域活性化の地方政策に関する研究などに、学部全員の教員で取り組んでいます。

また、当研究所は全学的な共同研究や産業界からの委託研究のコーディネート業務を行います。スタッフは学部所属の教員が全て研究員として研究に当たります。

### ■ 奥多摩演習林

本学の演習林は昭和53年に私有地を購入し、東京都奥多摩町に奥多摩演習林として設置されました。

平成10年4月からの新学部体制に伴い、地域環境科学部附属奥多摩演習林となりました。

奥多摩演習林は、面積約155haで秩父多摩甲斐国立公園に含まれています。標高は630m～1,452mにわたり動植物相の豊かなところです。また、南側には東京都の水瓶である奥多摩湖を控え重要な水源地帯になっています。

演習林開設以来、調査・研究については、地質、土壌、水文、動物相、植物相を中心に森林生態学や森林環境学など林学の基礎学的な研究と、育林技術、林業経営、伐採システム、環境保全及びレクリエーション利用など造林学・森林利用学・森林経営学および木材の成分、木材組織などの林産学的な研究をはじめ、環境モニタリング、野外教育などに関する森林環境の総合的な研究が進められています。また演習林では主に地域環境科学部森林総合科学科の学生の実習をはじめ、本学の学生および教職員の試験研究のために利用されています。

平成2年に完成した奥多摩演習林研修センターは、純木造建築の70名収容可能な宿泊棟、管理棟など6棟からなっています。研修センターまでは、JR奥多摩駅から約6kmで徒歩では約1時間30分を要します。



奥多摩演習林研修センター

### ■ 生物環境調節室

植物の育成・生理環境に関する研究に利用する施設です。自然光または人工グロースキャビネット加温ガラス室などがあり、年間170以上の研究テーマに利用されています。

## ■電子顕微鏡室

ウイルス等の微生物・動植物ならびに農業資材の微細構造と機能の関連を解析するため、透過型・走査型電子顕微鏡をはじめ、各種電子機器を装備し、研究教育に広く活用されています。

## 国際食料情報学部附属施設

### ■国際食料情報研究所

国際食料情報研究所は、経済、経営、国際協力の視点から地球的な規模で食料システム、環境保全型農業など、学部共通の課題を総合的に研究する機関です。調査、分析には学部学生も積極的に参加できる体制がとられています。研究テーマとして「ダイジョ新品種の種苗登録とマンゴーの開花御技術の開発」、「住民・学生参加による限界山村の再生方式の解明と実践」、「東日本大震災後の食品消費行動の変化と流通対応」、「食・農・環境教育の改善をめざす実践とその評価に関する研究」の四つのプロジェクトを柱にしています。また、もう一方では主として国内における環境保全型農業に関する多面的な側面からプロジェクト研究を推進しています。プロジェクトチームには姉妹校等の協力体制の下に、姉妹校の研究者（教授等）の参加を得ながら現地調査を実施し課題に取り組んでいます。また、プロジェクトを通して姉妹校の研究者を日本に招いて研究上の国際交流も行っています。

また、産学官による共同研究や受託研究のコーディネート業務も行います。

## 短期大学部附属施設

### ■生活科学研究所

豊かで健康な食生活と快適な生活環境の構築を目的に、食料・食品・栄養・健康・環境等人間生活に密接に関係する課題を科学的視点より総合的に研究を行っています。

### ■各学部と併置する附属施設

東京農大の各学部には併置されている多くの施設が短期大学部に併置されています。

農学部：植物園，伊勢原農場，富士農場

応用生物科学部：食品加工技術センター，高次生命機能解析センター